

# UHF Antenna

取扱説明書 \_\_\_\_\_ JP

Operating Instructions \_\_\_\_\_ GB

Mode d'emploi \_\_\_\_\_ FR

Bedienungsanleitung \_\_\_\_\_ DE

Istruzioni per l'uso \_\_\_\_\_ IT

Manual de instrucciones \_\_\_\_\_ ES

## AN-01

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の  
取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**  
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。



## 安全のために

ソニー製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

4、5 ページの注意事項をよくお読みください。

### 定期点検を実施する

5 年に 1 度くらいは内部の点検について、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。

### 故障したら使用を中止する

お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご連絡ください。

### 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、破損したときは



- ① 接続ケーブルを抜く。
- ② お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口に移理を依頼する。

炎が出たら



すぐに接続ケーブルを抜き、消火する。

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電



注意

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### 行為を禁止する記号



指示

---

# 目次

⚠ 警告 .....	4
⚠ 注意 .....	4
本機の概要 .....	6
各部の名称と働き .....	7
取り付け .....	9
付属のマイクスタンド取り付け用 ボール/グリップを取り付ける ...	9
マイクロホンスタンドに取り 付ける .....	9
使用上のご注意 .....	10
設置上のご注意 .....	10
使用・保管場所 .....	11
お手入れ .....	11
主な仕様 .....	12
保証書とアフターサービス .....	14
保証書 .....	14
アフターサービス .....	14

**警告**

火災



感電

下記の注意を守らないと、  
**火災や感電により死亡や大けがに**  
つながることがあります。

**禁止****内部に水や異物を入れない**

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。

**指示****お手入れの際は、電源を切る**

ケーブルを接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

**指示****接続の際は電源を切る**

ケーブルを接続するときには、接続先の機器の電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

**ぬれ手禁止****ぬれた手で接続ケーブルをさわらない**

ぬれた手で接続ケーブルを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

**禁止****接続ケーブルを傷つけない**

接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ケーブル（コネクタ部を含む）を加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ケーブルを着脱するときには、必ずコネクタ部を持って抜く。

万一、ケーブルが傷んだら、交換してください。

**注意**

下記の注意を守らないと、  
**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

**禁止****マイクスタンド以外に取り付けない**

取扱説明書に記されている仕様条件以外の場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

**禁止****ケーブルを引っ張らない**

無理に引っ張ると、接続されているアンテナやチューナーなどが落下し、けがの原因となることがあります。



禁止

### 設置後は、本体に無理な力を加えない

ぶらさがったり、物をひっかけたりしないでください。壊れたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



分解禁止

### 本体を改造しない

故障や事故の原因となることがあります。



禁止

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

### DC 入力端子に規格以外 の入力電圧をかけない

DC 入力端子に規格以外の入力電圧をかけると、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



注意

### 組立時、ねじ、ボルト類は確実に締める

ゆるいと、ずれたり落下してけがの原因となります。



指示

### コード類は正しく配置する

接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

### 移動時にはコード類をはずす

接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。移動時には、コード類をはずしてください。

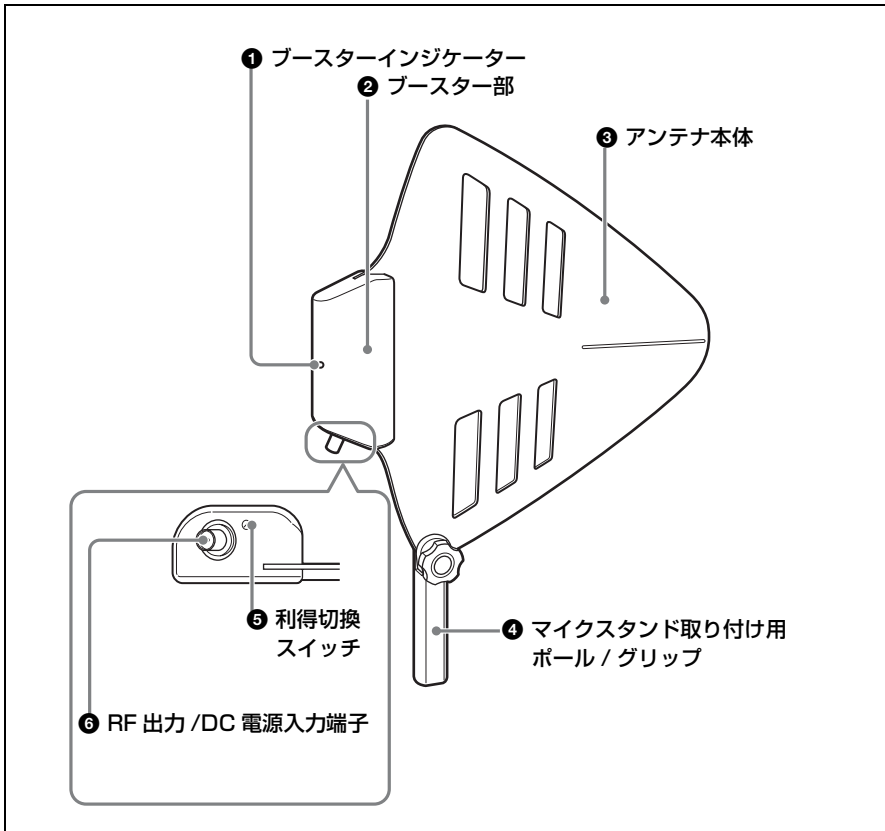
---

# 本機の概要

UHF アンテナ AN-01 は、ソニーワイヤレスマイクロホンシステムの受信指向性アンテナです。アナログシステムにもデジタルシステムにもお使いいただけます。

- ログペリオディックダイポールアレイ方式の採用による、広帯域指向性アンテナです。無指向性アンテナと比較して、指向性方向における実用上の受信感度を向上させることが可能です。
- 低雑音かつ低歪のアンテナブースターを装備しています。
- ブースター利得は、18dB/10dB/0dB の切り換えが可能です。
- スタンドネジ付きグリップの採用により、マイクスタンドに取り付けても、手持ちでも、運用可能です。
- アンテナ角度を上下方向に $\pm 30^\circ$  調整することができ、状況に応じたセッティングが可能です。

# 各部の名称と働き



## ① ブースターインジケータ

点灯する色によってアンテナブースターの動作状態を表します。

赤：利得 18dB

緑：利得 10dB

青：利得 0dB

## ② ブースター部

アンテナ本体で受信した電波を増幅します。電波の増幅によって、長いケーブルを使用した場合の信号損失が補償されます。

アンテナブースター用の電源は、RF 出力 /DC 電源入力端子に接続した機器から供給されます。

### ③ アンテナ 本体

ログペリオディックダイポールアレイ方式による広帯域指向性アンテナです。

### ④ マイクスタンド取り付け用ポール / グリップ

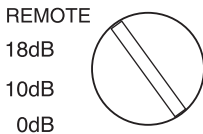
底部の PF1/2 ねじによって、マイクロホンスタンドへ取り付けることができます。

また、直接手に持って運用することも可能です。

- ◆ 本体への取り付けかたについて詳しくは、「付属のマイクスタンド取り付け用ポール / グリップを取り付ける」(9 ページ) をご覧ください。

### ⑤ 利得切換スイッチ

アンテナブースターの利得を切り換えます。



**REMOTE** : 入力電源電圧によって、利得は以下のように自動的に切り換わります。

- DC 9V 供給時 : 10dB
- DC 12V 供給時 : 18dB

**18dB** : 電源電圧にかかわらず、利得は 18dB になります。

**10dB** : 電源電圧にかかわらず、利得は 10dB になります。

**0dB** : 電源電圧にかかわらず、利得は 0dB になります。

### ご注意

利得切換スイッチを「0dB」に切り換えたときも、必ず本機に電源を供給してく

ださい。電源が供給されないと、本機の RF 出力 / DC 電源入力端子から信号が出力されません。

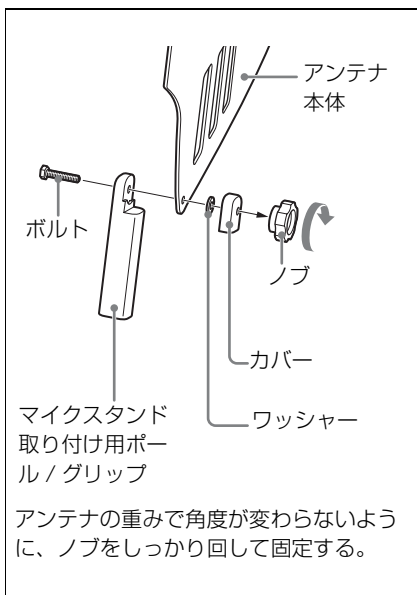
### ⑥ RF 出力 / DC 電源入力端子 (BNC-R)

同軸ケーブルで受信機 (チューナー、チューナーベースユニット、アンテナディバイダーなど) のアンテナ入力端子に接続し、ブースター部で増幅した電波を送信します。同時に、接続した機器からブースター部への電源を供給します。

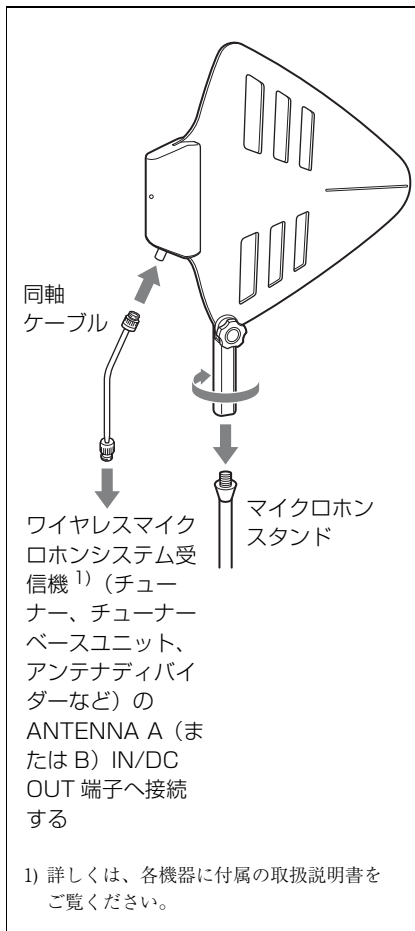


# 取り付け

## 付属のマイクスタンド取り付け用ポール/グリップを取り付ける



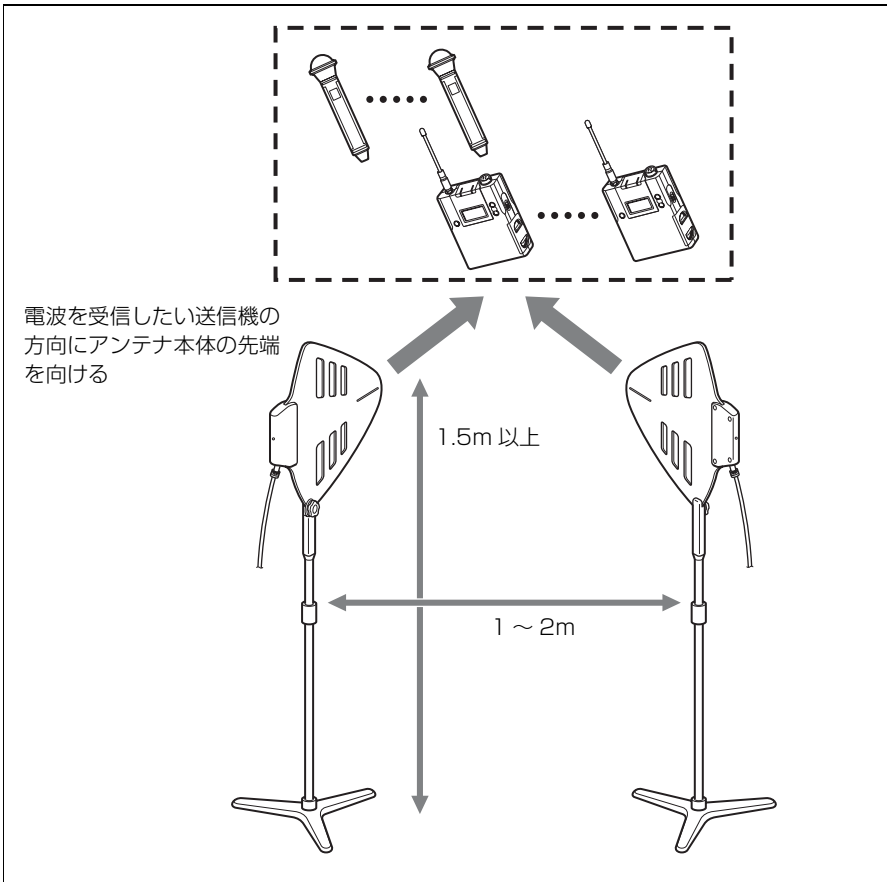
## マイクロホンスタンドに取り付ける



# 使用上のご注意

## 設置上のご注意

- ダイバーシティー受信のために、本機は基本的に2個1組でお使いください。
- 設置の際は、次の点にご注意ください。



- 1.5m 以上の高さに設置する
- 互いに1m ~ 2m 以上離す
- 運用する送信機（ワイヤレスマイクロホンやトランスミッターなど）を、アンテナ指向性の向きで直視できる位置に設置する

- 次のような場所や位置には設置しないでください。
  - 天井や壁などの内装材の裏側
  - 窓、金属板、電気器具（照明器具、電動機、エレベーター、配電盤など）、電子機器（コンピューター、調光器、テレビ、テレビカメラなど）の近く
  - 人や機材の移動によって本機が破損するおそれのある位置
- 同軸ケーブルはできるだけ短くし、長さも揃えてご使用ください。
- 利得の設定と同軸ケーブルの長さの関係については、下表を参考にしてください。ただし、使用条件によっては利得に過不足が生じる場合がありますので、実動作確認を行った上で利得を設定してください。

### 同軸ケーブルの長さの目安（5D-2V 使用時）

		送信機～受信機間の距離	
		約 30m	約 60m
利得 設定	0dB	0～10m	0～5m
	10dB	10～75m	5～50m
	18dB	75～150m	50～100m

### 使用・保管場所

- 本機は周囲温度 0℃～50℃の範囲で動作します。
- 本機を電力機器（回転機、変圧器、調光器等）に近接して使用すると、磁気誘導を受けることがありますので、できるだけ離して使用してください。
- 電飾などの照明器具により、かなり広範囲の周波数帯域にわたり電波が発生し、妨害を受けることがあります。こ

の場合、受信アンテナの位置やワイヤレスマイクロホンの使用位置により妨害が増減しますので、なるべく妨害を受けない位置でご使用ください。

- 本機を騒音の多い場所や振動の多い場所で使用すると、振動が直接本体に伝わり、雑音発生（マイクロホニック）の原因となり、規定の S/N を満足しない場合があります。影響を受けると考えられるものには、次のようなものがありますので、十分に注意してください。
  - 回転機、変圧器などの付近
  - 空調機器より発生する騒音、または風を直接受ける場合
  - PA（Public Address）システムのスピーカー付近
  - スタジオなどに設置していて、スタジオの機器をぶつけたり、たたいたり、物を落としたりした場合
 対策としては、影響を受ける条件からできるだけ離したり、緩衝材を敷くなどの処理をしてください。

### お手入れ

- 水分やほこりの多い所、活性ガスにさらされる所で使用したあとは、早めにコネクター部や本機表面のお手入れを行ってください。お手入れを怠ったり、このような場所で長時間使用したりすると、機器の寿命を縮めるおそれがありますので、ご注意ください。
- 表面やコネクター部の汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げをいためますので使わないでください。

本機の接続について詳しくは、接続先の機器（チューナー、チューナーベースユニット、アンテナディバイダーなど）に付属の取扱説明書をご覧ください。

## 主な仕様

### アンテナ部

周波数帯域	470 MHz ~ 862 MHz
アンテナ利得	5 dBi 以上
VSWR	2.5 以下
電力半値角	150° 以内
FB 比	12 dB 以上

### ブースター部

周波数帯域	470 MHz ~ 862 MHz
ブースター利得	18 dB/10 dB/0 dB 切り換え

出力インピーダンス

50 Ω

VSWR 3 以下

雑音指数 6 dB 以下

三次相互変調 60 dB 以上

(95 dB $\mu$ V<sub>EMF</sub> 入力時)

出力コネクタ BNC-R 型

電源電圧 DC 9 V/12 V

消費電流 100 mA 以下

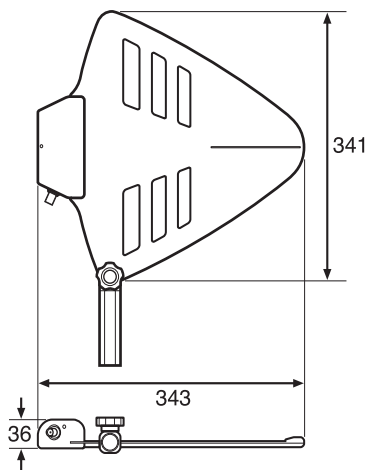
### 一般

許容動作温度 0 °C ~ 50 °C

許容保存温度 - 20 °C ~ + 60 °C

外形寸法 (単位 : mm)

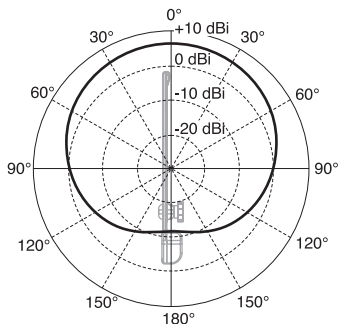
343 × 341 × 36 (幅 / 高さ / 奥行き)  
(マイクスタンド取り付け用ポール / グリップ含まず)



質量  
付属品

約 530 g  
マイクスタンド取り付け  
用ポール / グリップ  
(1 式)  
スタンドアダプター  
PF1/2-W5/8 タイプ  
(1)  
PF1/2-W3/8 タイプ  
(1)  
取扱説明書 (1)  
保証書 (1)  
ソニー業務用商品相談窓  
口のご案内 (1)

## 水平面指向特性例



仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

---

# 保証書とアフターサービス

---

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お近くのソニー営業所にお問い合わせください。

---

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

---

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.



### **For the customers in Europe**

Hereby, Sony Corporation declares that this equipment is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

<http://www.compliance.sony.de/>

### **Voor klanten in Europa**

Hierbij verklaart Sony Corporation dat deze radioapparatuur conform is met Richtlijn 2014/53/EU.

De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring kan worden geraadpleegd op het volgende internetadres:

<http://www.compliance.sony.de/>

### **För kunder i Europa**

Härmed försäkrar Sony Corporation att denna utrustning överensstämmer med direktiv 2014/53/EU.

Den fullständiga texten till EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande webbadress:

<http://www.compliance.sony.de/>

### **Para clientes na Europa**

O(a) abaixo assinado(a) Sony Corporation declara que o presente equipamento está em conformidade com a Diretiva 2014/53/UE. O texto integral da declaração de conformidade está disponível no seguinte endereço de Internet:

<http://www.compliance.sony.de/>

### **For kunder i Europa**

Herved erklærer Sony Corporation, at dette udstyr er i overensstemmelse med direktiv 2014/53 / EU.

Den fulde ordlyd af

EU-overensstemmelseserklæringen er tilgængelig på følgende internetadresse:

<http://www.compliance.sony.de/>

### **Asiakkaille Euroopassa**

Sony Corporation vakuuttaa, että tämä laite on direktiivin 2014/53/EU mukainen.

EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täysimittainen teksti on saatavilla seuraavassa internetosoitteessa:

<http://www.compliance.sony.de/>

### **For kunder i Europa**

Herved erklærer Sony Corporation at utstyrstypen er i samsvar med direktiv 2014/53/EU.

EU-erklæring fulltekst finner du på Internett under:

<http://www.compliance.sony.de/>

### **Για τους πελάτες στην Ευρώπη**

Με την παρούσα Sony Corporation δηλώνει ότι, αυτή η συσκευή πληροί τους όρους της οδηγίας 2014/53/EU.

Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ διατίθεται στην ακόλουθη ιστοσελίδα στο διαδίκτυο:

<http://www.compliance.sony.de/>

### **Avrupa'daki müşteriler için**

Sony Corporation, bu cihazın 2014/53/ EU Direktifi ile uyumlu olduğunu beyan eder.

AB uygunluk beyanının tam metni aşağıdaki internet adresinde mevcuttur:

<http://www.compliance.sony.de/>

## **За клиентите в Европа**

С настоящото, Sony Corporation декларира, че това оборудване е в съответствие с Директива 2014/53/EU.

Цялостният текст на ЕС декларацията за съответствие може да се намери на следния интернет адрес: <http://www.compliance.sony.de/>

## **Pentru clienții din Europa**

Prin prezenta, Sony Corporation declară că acest echipament este în conformitate cu Directiva 2014/53/UE.

Textul integral al declarației UE de conformitate este disponibil la următoarea adresă internet:

<http://www.compliance.sony.de/>

## **Pro zákazníky v Evropě**

Sony Corporation tímto prohlašuje, že toto zařízení je v souladu se směrnicí 2014/53/EU.

Úplné znění EU prohlášení o shodě je k dispozici na této internetové adrese:

<http://www.compliance.sony.de/>

## **Klientidele Euroopas**

Käesolevaga deklareerib Sony Corporation, et käesolev seade vastab direktiivi 2014/53/EL nõuetele.

ELi vastavusdeklaratsiooni täielik tekst on kättesaadav järgmisel internetiaadressil:

<http://www.compliance.sony.de/>

## **Európai ügyfeleinknek**

A Sony Corporation igazolja, hogy ez a készülék megfelel a 2014/53/EU irányelvnek.

Az EU-megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege elérhető a következő internetes címen: <http://www.compliance.sony.de/>

## **Klientiem Eiropā**

Ar šo Sony Corporation deklarē, ka šī iekārta atbilst direktīvai 2014/53/ES. Pilns ES atbilstības deklarācijas teksts ir pieejams šādā interneta vietnē: <http://www.compliance.sony.de/>

## **Europos klientams**

Mes, Sony Corporation, patvirtiname, kad šis įrenginys atitinka direktyvą 2014/53/ES.

Visas ES atitikties deklaracijos tekstas pasiekiamas šiuo internetiniu adresu: <http://www.compliance.sony.de/>

## **Dla klientów w Europie**

Sony Corporation niniejszym oświadcza, że to urządzenie jest zgodne z dyrektywą 2014/53/UE.

Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym:

<http://www.compliance.sony.de/>

## **Pre zákazníkov v Európe**

Sony Corporation týmto vyhlasuje, že zariadenie je v súlade so smernicou 2014/53/EU.

Úplné vyhlásenie EÚ o zhode je k dispozícii na tejto internetovej adrese: <http://www.compliance.sony.de/>

## **Za stranke v Evropi**

Sony Corporation potrjuje, da je ta oprema skladna z Direktivo 2014/53/EU.

Celotno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na naslednjem spletnem naslovu:

<http://www.compliance.sony.de/>

## **Za korisnike u Europi**

Sony Corporation ovime izjavljuje da je ova oprema u skladu s Direktivom 2014/53/EU.

Cjeloviti tekst EU izjave o skladnosti dostupan je na sljedećoj internetskoj adresi: <http://www.compliance.sony.de/>



## **Za kupce u Evropi**

Ovim, kompanija Sony Corporation izjavljuje da je ova oprema usaglašena sa direktivom 2014/53/EU.

Pun tekst Izjave o usaglašenosti za EU je dostupan na sledećoj internet adresi:

<http://www.compliance.sony.de/>

### **For the customers in the U.S.A.**

#### **SONY LIMITED WARRANTY** -

Please visit <http://www.sony.com/psa/warranty> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

### **For the customers in Canada**

#### **SONY LIMITED WARRANTY** -

Please visit <http://www.sonybiz.ca/pro/lang/en/ca/article/resources-warranty> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

### **For the customers in Europe**

Sony Professional Solutions Europe - Standard Warranty and Exceptions on Standard Warranty.

Please visit <http://www.pro.sony.eu/warranty> for important information and complete terms and conditions.

### **For the customers in Korea**

#### **SONY LIMITED WARRANTY** -

Please visit <http://bpeng.sony.co.kr/handler/BPAS-Start> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

---

# Table of Contents

<b>Overview .....</b>	<b>18</b>
<b>Identification of Parts and Controls .....</b>	<b>19</b>
<b>Attaching the Antenna .....</b>	<b>20</b>
Attaching the Supplied Microphone Stand Attachment Pole/Grip .....	20
Attaching to the Microphone Stand .....	21
<b>Important Notes on Operation.....</b>	<b>22</b>
On Installation .....	22
On Using the Antenna .....	23
On Cleaning .....	24
<b>Specifications .....</b>	<b>24</b>

---

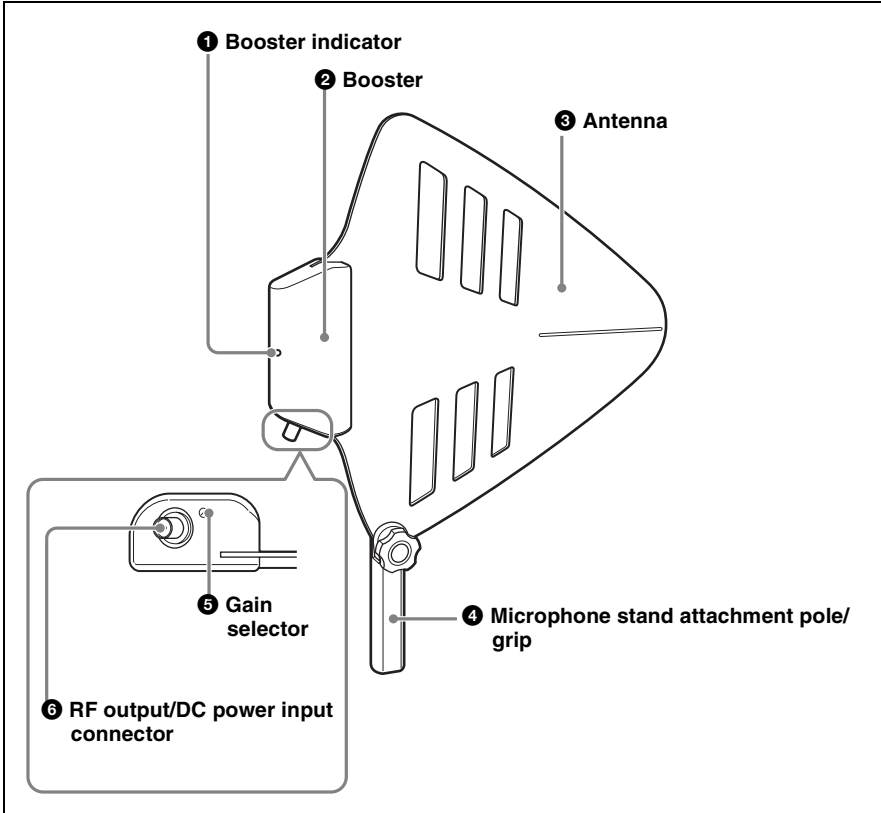
## Overview

The AN-01 UHF Antenna is designed to be used with the Sony wireless microphone receiving system. This antenna can be used with both analog system and digital system.

The features of this antenna are as follows:

- This wide-band directional antenna uses log-periodic dipole array system that provides improved practical reception sensitivity in its effective directivity, compared to the non-directional antenna.
- Built-in low-noise, low-distortion antenna booster
- Selectable booster gain (18 dB/10 dB/0 dB)
- The grip with screw for attaching to the microphone stand allows this antenna to be attached to the microphone stand or to be hand-held.
- Antenna angle can be adjusted in 30 degrees in vertical direction to allow installation to suit the circumstances.

# Identification of Parts and Controls



## 1 Booster indicator

Changes the color to show the operation status of the antenna booster.

**Red:** 18 dB gain

**Green:** 10 dB gain

**Blue:** 0 dB gain

## 2 Booster

Amplifies the signal received by the antenna. By using the booster, output signal loss due to a long coaxial cable can be compensated.

The power to the booster is supplied from the device connected to the RF output/DC power input connector.

## 3 Antenna

Wide-band directional antenna using log-periodic dipole array system.

#### 4 Microphone stand attachment pole/grip

With the PF1/2 screw at the bottom, this antenna can be attached to a microphone stand.

The grip also allows hand-held operation.

*For details on how to attach this to the antenna, see “Attaching the Supplied Microphone Stand Attachment Pole/Grip” on page 20.*

#### 5 Gain selector

Switches the antenna booster gain.



**REMOTE:** The gain switches automatically according to the supplied power voltage as follows:

- When 9 V DC is supplied: 10 dB
- When 12 V DC is supplied: 18 dB

**18dB:** 18 dB gain regardless of the supplied power voltage

**10dB:** 10 dB gain regardless of the supplied power voltage

**0dB:** 0 dB gain regardless of the supplied power voltage

#### Note

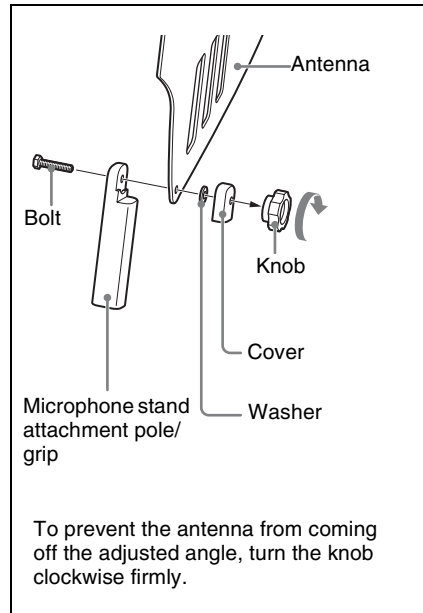
Be sure to supply power to this antenna even when the gain selector is set to “0dB”. When no power is supplied, no signal is output from the RF output/DC power input connector.

#### 6 RF output/DC power input connector (BNC-R)

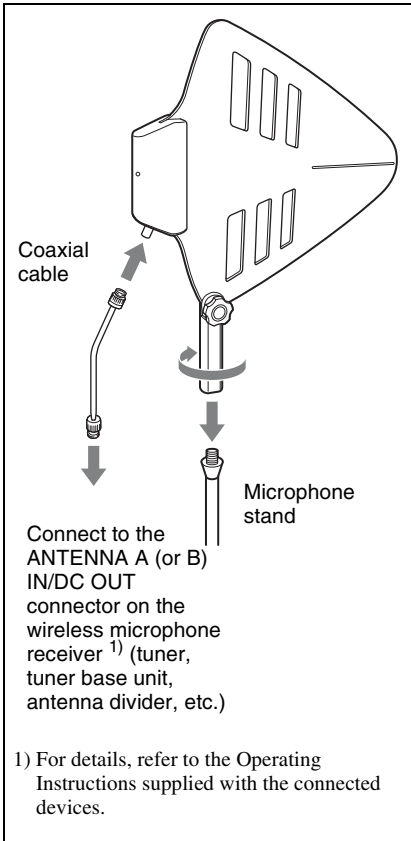
Connect to the antenna input connector of the receiver (tuner, tuner base unit, or antenna divider, etc.) to output the signal amplified with the booster. The power is supplied to the booster through this connector.

## Attaching the Antenna

### Attaching the Supplied Microphone Stand Attachment Pole/Grip



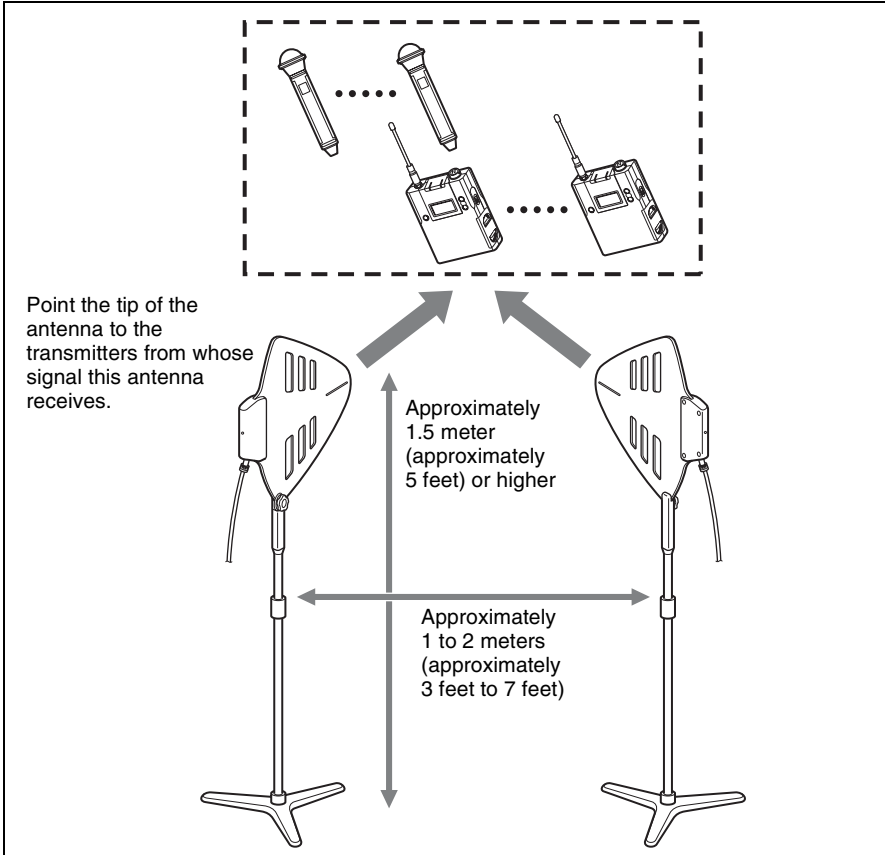
## Attaching to the Microphone Stand



# Important Notes on Operation

## On Installation

- For diversity signal reception, always use two or more AN-01 units in pairs.
- Note the following when installing this antenna:



- Place the antennas approximately 1.5 meter (approximately 5 feet) or higher from the installation surface
- Install each pair of units at least approximately 1 to 2 meters (approximately 3 feet to 7 feet) apart from each other.
- Make sure that the units installed are visible from where the transmitters (wireless microphones or transmitters, etc.) with the tip of the antenna pointing towards them.

- Avoid installing the units:
  - near a window or metal paneling
  - immediately adjacent to electrical equipment, which may produce RF interference
  - where they are vulnerable to physical damage.
- Keep the coaxial cables as short as possible and keep the same lengths.
- See the table below for the relationship between gain setting and approximate length of the coaxial cable. Note, however, that excessive or low gain may result depending on the conditions of use. Be sure to set the gain after checking the operation of the antenna.

**Guide for coaxial cable length (for RG-212/U cable)**

- Operating frequencies: 600-MHz band

		Distance between the transmitters and the receiving antennas	
		Approximately 30 meters (100 feet)	Approximately 60 meters (200 feet)
Gain setting of the booster	0 dB	0 to 12 meters (0 to 36 feet)	0 to 6 meters (0 to 18 feet)
	10 dB	12 to 90 meters (36 to 270 feet)	6 to 60 meters (18 to 180 feet)
	18 dB	90 to 180 meters (270 to 540 feet)	60 to 120 meters (180 to 360 feet)

- Operating frequencies: 800-MHz band

		Distance between the transmitters and the receiving antennas	
		Approximately 30 meters (100 feet)	Approximately 60 meters (200 feet)
Gain setting of the booster	0 dB	0 to 10 meters (0 to 30 feet)	0 to 5 meters (0 to 15 feet)
	10 dB	10 to 75 meters (30 to 225 feet)	5 to 50 meters (15 to 150 feet)
	18 dB	75 to 150 meters (225 to 450 feet)	50 to 100 meters (150 to 300 feet)

**On Using the Antenna**

- This unit must be used within a temperature range of 0 °C to 50 °C (32 °F to 122 °F).
- Operating this unit near electrical equipment (motors, transformers, or dimmers) may cause it to be affected by electromagnetic induction. Keep this unit as far from such equipment as possible.

- The presence of the lighting equipment may produce electrical interference over the entire frequency range. Position this unit so that interference is minimized.
- To avoid degradation of the signal-to-noise ratio, do not use this unit in noisy places or in locations subject to vibration, such as the following:
  - near electrical equipment, such as motors, transformers or dimmers

- near air conditioning equipment or places subject to direct air flow from an air conditioner
- near public address loudspeakers
- where adjacent equipment might knock against the tuner
- Keep this unit as far from such equipment as possible or use buffering material.

---

## On Cleaning

- If this unit is used in a very humid or dusty place or in a place subject to an active gas, clean its surface as well as the connectors with a dry, soft cloth soon after use. Lengthy use of this unit in such places or not cleaning it after its use in such places may shorten its life.
- Clean the surface and the connectors of this unit with a dry, soft cloth. Never use thinner, benzene, alcohol or any other chemicals, since these may mar the finish.

For more information on connections of this unit, refer to the Operating Instructions supplied with the connected device (tuner, tuner base unit, or antenna divider, etc.).

---

# Specifications

## Antenna section

- Frequency range  
470 to 862 MHz
- Antenna gain  
5 dBi or more
- Voltage standing wave ratio  
2.5 or less
- Half power angle  
150 degrees or less
- Front to back ratio  
12 dB or more

## Booster section

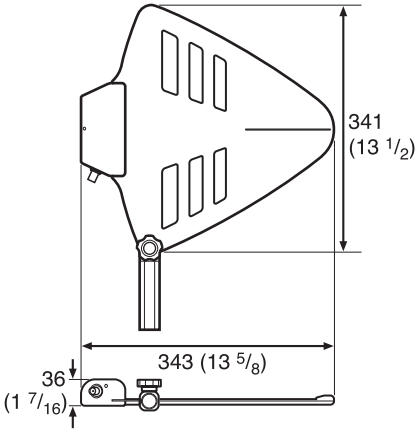
- Frequency range  
470 to 862 MHz
- Booster gain  
18 dB/10 dB/0 dB, switchable
- Output impedance  
50 ohms
- Voltage standing wave ratio  
3 or less
- Noise figure  
6 dB or less
- Third order intermodulation  
60 dB or more (95 dB $\mu$ V<sub>EMF</sub> input)
- Output connector  
BNC-R type
- Supply voltage  
9 V/12 V DC
- Current consumption  
100 mA or less

## General

- Operation temperature  
0 °C to 50 °C (32 °F to 122 °F)
- Storage temperature  
-20 °C to +60 °C (-4 °F to +140 °F)



Dimensions (unit: mm (inches))  
 $343 \times 341 \times 36$  ( $13 \frac{5}{8} \times 13 \frac{1}{2} \times 1 \frac{7}{16}$ ) (w/h/d) (excluding microphone stand attachment pole/grip)

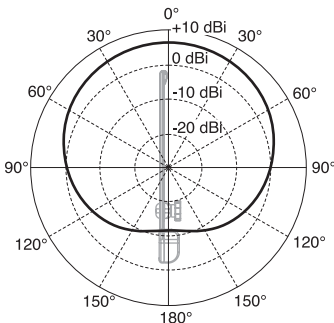


Mass Approx. 530 g (19 oz)

### Supplied accessories

- Microphone stand attachment pole/grip (1 set)
- Stand Adapter
  - PF1/2 to W5/8 type (1)
  - PF1/2 to W3/8 type (1)
- Operating Instructions (1)
- Warranty card (1)
- Warranty booklet (1)

### Example of horizontal directivity characteristics



Design and specifications are subject to change without notice.

### Note

Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour future référence.



**Pour les clients en Europe**

Le soussigné, Sony Corporation, déclare que cet équipement est conforme à la Directive 2014/53/UE.

Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante :

<http://www.compliance.sony.de/>

**Pour les clients au Canada**

**GARANTIE LIMITÉE DE SONY** -

Rendez-vous sur <http://www.sonybiz.ca/pro/lang/en/ca/article/resources-warranty> pour obtenir les informations importantes et l'ensemble des termes et conditions de la garantie limitée de Sony applicable à ce produit.

---

# Table des matières

<b>Aperçu</b> .....	<b>27</b>
<b>Nomenclature</b> .....	<b>28</b>
<b>Fixation de l'antenne</b> .....	<b>29</b>
Fixation de la manette/pôle de fixation du pied de microphone fourni .....	29
Fixation du pied de microphone .....	30
<b>Remarques importantes sur le fonctionnement</b> .....	<b>31</b>
A propos de l'installation .....	31
A propos de l'utilisation de l'antenne .....	32
A propos du nettoyage .....	33
<b>Spécifications</b> .....	<b>33</b>

---

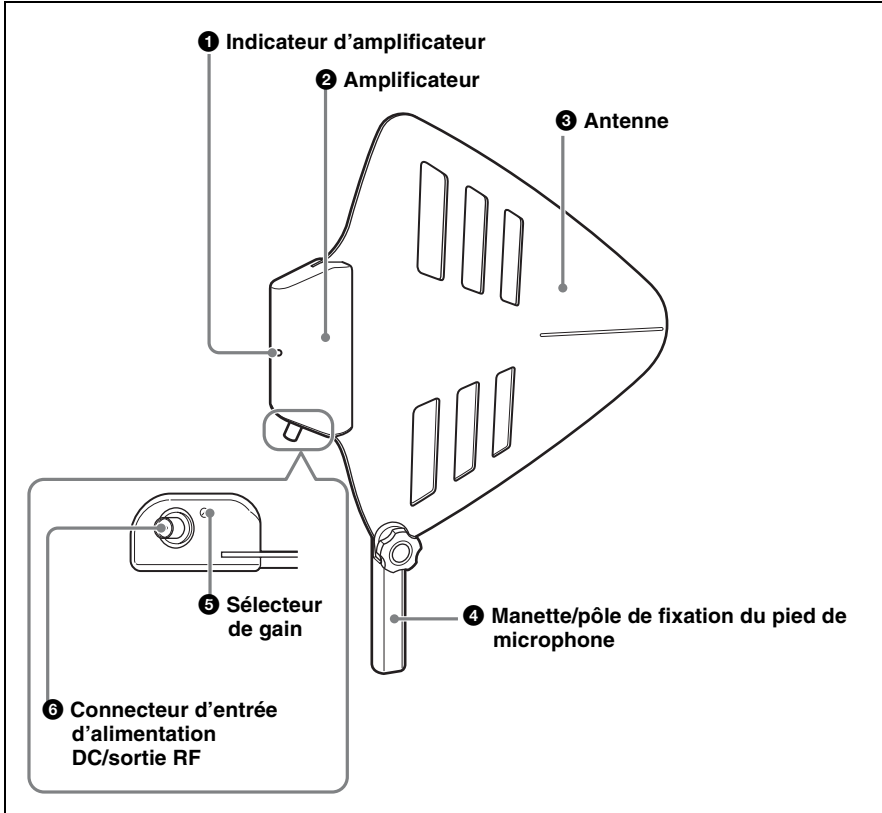
## Aperçu

L'antenne UHF AN-01 est destinée à être utilisée avec le système de réception de microphone sans fil de Sony. Cette antenne peut être utilisée avec les deux systèmes analogique et numérique.

Les caractéristiques de l'antenne sont les suivantes :

- Cette antenne directionnelle à large bande utilise un système de réseau dipôle périodique qui fournit une sensibilité de réception améliorée dans sa directivité effective, comparée à l'antenne non directionnelle.
- Amplificateur d'antenne à faible distorsion et faibles parasites incorporé
- Gain d'amplificateur sélectionnable (18 dB/10 dB/0 dB)
- La manette avec la vis pour la fixation au pied du microphone permet à l'antenne d'être attachée au pied du microphone ou portée à la main.
- L'angle de l'antenne peut être réglé de 30 degrés dans le sens vertical pour permettre une installation selon les circonstances.

# Nomenclature



## 1 Indicateur d'amplificateur

Change la couleur pour montrer l'état de fonctionnement de l'amplificateur d'antenne.

**Rouge** : Gain 18 dB

**Vert** : Gain 10 dB

**Bleu** : Gain 0 dB

## 2 Amplificateur

Amplifie le signal reçu par l'antenne. En utilisant l'amplificateur, la perte du signal

de sortie à cause d'un long câble coaxial peut être compensée.

L'alimentation de l'amplificateur est fournie par le périphérique raccordé au connecteur d'entrée d'alimentation DC/sortie RF.

## 3 Antenne

Antenne directionnelle à large bande utilisant un système de réseau dipôle périodique.

#### 4 Manette/pôle de fixation du pied de microphone

Avec la vis PF1/2 en bas, cette antenne peut être fixée au pied d'un microphone.

La manette permet aussi le fonctionnement en la tenant à la main.

*Pour les détails sur la fixation de l'antenne, reportez-vous à « Fixation de la manette/pôle de fixation du pied de microphone fourni » à la page 29.*

#### 5 Sélecteur de gain

Commute le gain de l'amplificateur d'antenne.



**REMOTE** : Selon la tension d'alimentation fournie, le gain commute automatiquement comme suit :

- Lorsque 9 V CD est fourni : 10 dB
- Lorsque 12 V CD est fourni : 18 dB

**18dB** : Gain de 18 dB sans tenir compte de la tension d'alimentation fournie

**10dB** : Gain de 10 dB sans tenir compte de la tension d'alimentation fournie

**0dB** : Gain de 0 dB sans tenir compte de la tension d'alimentation fournie

#### Remarque

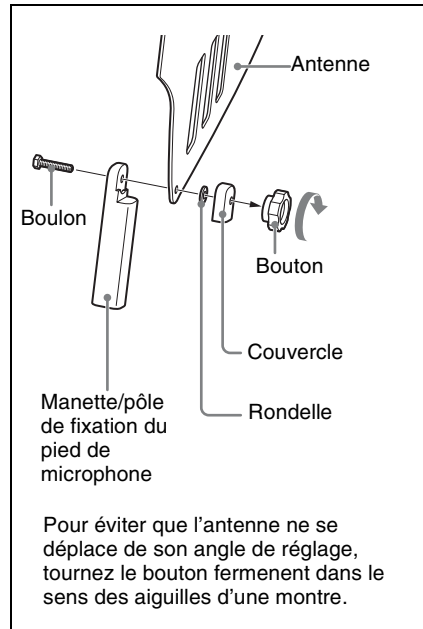
Assurez-vous de fournir l'alimentation de l'antenne même lorsque le sélecteur de gain est réglé sur « 0dB ». Lorsqu'aucune alimentation n'est fournie, aucun signal n'est sorti du connecteur d'entrée d'alimentation DC/sortie RF.

#### 6 Connecteur d'entrée d'alimentation DC/sortie RF (BNC-R)

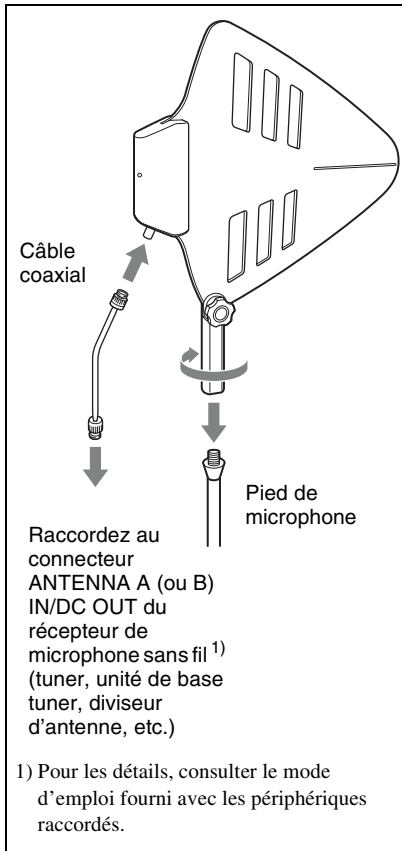
Raccordez au connecteur d'entrée de l'antenne du récepteur (tuner, unité de base tuner ou diviseur d'antenne, etc.) pour sortir le signal amplifié avec l'amplificateur. L'alimentation est fournie à l'amplificateur via ce connecteur.

## Fixation de l'antenne

### Fixation de la manette/pôle de fixation du pied de microphone fourni



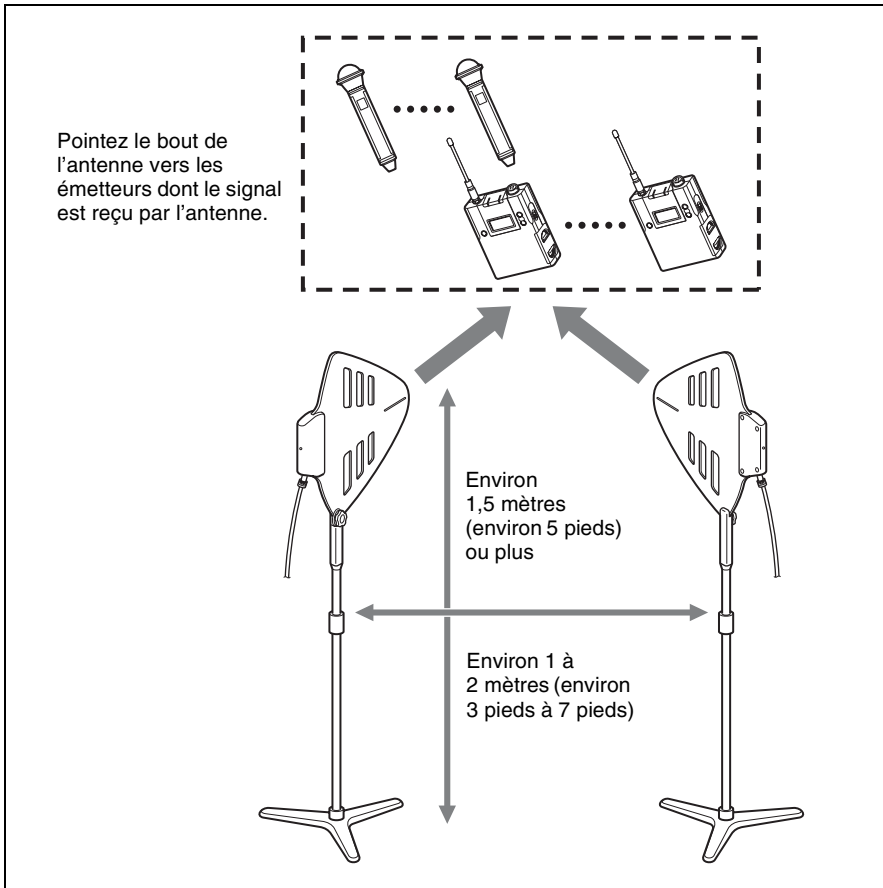
## Fixation du pied de microphone



# Remarques importantes sur le fonctionnement

## A propos de l'installation

- Pour la réception de signal diversifié, utilisez toujours deux ou plusieurs AN-01 antennes par paires.
- Lors de l'installation de l'antenne, notez ce qui suit :



- Placez les antennes à environ 1,5 mètres (environ 5 pieds) ou plus de la surface d'installation

- Installez chaque paire d'antennes à au moins 1 à 2 mètres environ (environ 3 pieds à 7 pieds) l'une de l'autre.
- Vérifiez que les antennes installées sont visibles de l'endroit où les émetteurs (microphones sans fil ou émetteurs, etc.) avec le bout de l'antenne pointent vers eux.
- Éviter d'installer ces appareils :
  - à proximité d'une fenêtre ou d'un panneau métallique
  - juste à côté d'un appareil électrique susceptible de produire des interférences RF
  - à un endroit où ils risquent des dommages physiques.
- Gardez les câbles coaxiaux les plus courts possible et de la même longueur.
- Reportez-vous au tableau ci-dessous pour la relation entre le réglage de gain et la longueur approximative du câble coaxial. Noter cependant qu'un gain excessif ou faible peut en résulter en fonction des conditions d'utilisation. S'assurer de régler le gain après avoir vérifié le fonctionnement de l'antenne.

### Guide pour la longueur du câble coaxial (pour le câble RG-212/U)

- Fréquences de fonctionnement : Bande de 600 MHz

		Distance entre les antennes des récepteurs et émetteurs	
		Environ 30 mètres (100 pieds)	Environ 60 mètres (200 pieds)
Réglage du gain de l'amplificateur	0 dB	0 à 12 mètres (0 à 36 pieds)	0 à 6 mètres (0 à 18 pieds)
	10 dB	12 à 90 mètres (36 à 270 pieds)	6 à 60 mètres (18 à 180 pieds)
	18 dB	90 à 180 mètres (270 à 540 pieds)	60 à 120 mètres (180 à 360 pieds)

- Fréquences de fonctionnement : Bande de 800 MHz

		Distance entre les antennes des récepteurs et émetteurs	
		Environ 30 mètres (100 pieds)	Environ 60 mètres (200 pieds)
Réglage du gain de l'amplificateur	0 dB	0 à 10 mètres (0 à 30 pieds)	0 à 5 mètres (0 à 15 pieds)
	10 dB	10 à 75 mètres (30 à 225 pieds)	5 à 50 mètres (15 à 150 pieds)
	18 dB	75 à 150 mètres (225 à 450 pieds)	50 à 100 mètres (150 à 300 pieds)

### A propos de l'utilisation de l'antenne

- L'antenne doit être utilisée dans une plage de température allant de 0 °C à 50 °C (32 °F à 122 °F).
- Si l'antenne est utilisée à proximité d'équipement électrique (moteurs, transformateurs ou variteurs), elle risque d'être affectée par l'induction électromagnétique. Gardez l'antenne aussi loin que possible de ce genre d'appareils.



- La présence d'un appareil d'éclairage risque de provoquer des interférences électriques sur toute la plage de fréquence. Placez l'appareil de façon à minimiser ces interférences.
- Pour éviter la dégradation du rapport signal/bruit, n'utilisez pas l'appareil dans des emplacements bruyants ou dans des endroits sujets à des vibrations tel que :
  - à proximité d'appareil électrique, tel que des moteurs, transformateurs ou variateurs de lumière
  - à proximité d'appareil d'air conditionné ou d'endroits en plein passage d'air conditionné
  - à proximité de haut-parleurs publics
  - où l'appareil voisin risque de cogner contre le tuner
  - Gardez l'appareil le plus loin possible de ce genre d'équipement ou utilisez un matériau de tamponnement.

---

## A propos du nettoyage

- Si l'appareil est utilisé dans un endroit humide ou poussiéreux ou sujet à un gaz actif, nettoyez sa surface ainsi que les connecteurs avec un chiffon sec et doux à la fin de l'utilisation. L'utilisation prolongée de l'appareil dans ces endroits ou l'absence de nettoyage après l'utilisation risquent de raccourcir sa durée de vie.
- Nettoyez la surface et les connecteurs de l'appareil avec un chiffon sec et doux. N'utilisez jamais de solvant, benzène, alcool ou tout autre produit chimique qui risquent d'endommager la finition.

Pour plus d'informations sur les raccordements de cet appareil, reportez-vous au mode d'emploi fourni avec le périphérique raccordé (tuner, unité de base tuner ou diviseur d'antenne, etc.).

---

# Spécifications

## Section d'antenne

- Plage de fréquences  
470 à 862 MHz
- Gain d'antenne  
5 dBi ou plus
- Rapport des tensions d'ondes stationnaires  
Inférieur ou égal à 2,5
- Angle semi motorisé  
Inférieur ou égal à 150 degrés
- Rapport des rayonnements avant et arrière  
12 dB ou plus

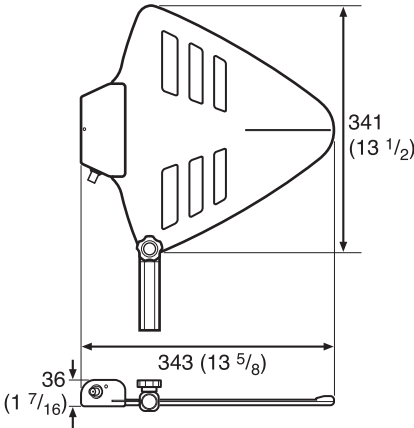
## Section d'amplificateur

- Plage de fréquences  
470 à 862 MHz
- Gain d'amplificateur  
18 dB/10 dB/0 dB, commutable
- Impédance de sortie  
50 ohms
- Rapport des tensions d'ondes stationnaires  
Inférieur ou égal à 3
- Facteur de bruit  
Inférieur ou égal à 6 dB
- Intermodulation de troisième ordre  
Supérieure ou égale à 60 dB (entrée de 95 dB $\mu$ V<sub>EMF</sub>)
- Connecteur de sortie  
Type BNC-R
- Tension d'alimentation  
CD 9 V/12 V
- Consommation électrique  
Inférieure ou égale à 100 mA

## Général

- Température de fonctionnement  
0 °C à 50 °C (32 °F à 122 °F)
- Température d'entreposage  
-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)

Dimensions (appareil : mm (pouces))  
 $343 \times 341 \times 36$  mm ( $13 \frac{5}{8} \times 13 \frac{1}{2}$   
 $\times 1 \frac{7}{16}$  pouces) (l/h/p) (hors  
 Manette/pôle de fixation du  
 pied de microphone)

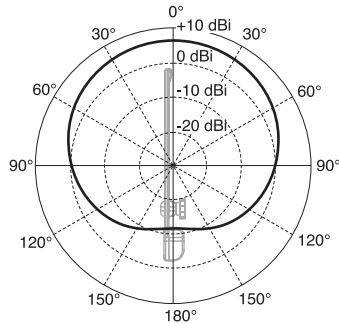


Poids Environ 530 g (19 oz)

### Accessoires fournis

- Manette/pôle de fixation du pied de microphone (1 set)
- Adaptateur du pied
  - Type PF1/2 à W5/8 (1)
  - Type PF1/2 à W3/8 (1)
- Mode d'emploi (1)
- Carte de garantie (1)
- Garantie (1)

### Exemple de caractéristiques de directivité horizontale



La conception et les spécifications sont sujettes à des modifications sans préavis.

### Remarque

Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.**

Bitte lesen Sie dieses Handbuch vor der Benutzung des Geräts sorgfältig durch und bewahren Sie es zum späteren Nachschlagen auf.



### **Für Kunden in Europa**

Hiermit erklärt Sony Corporation, dass diese Funkanlage der Richtlinie 2014/53/EU entspricht.

Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar:  
<http://www.compliance.sony.de/>

---

# Inhaltsverzeichnis

<b>Überblick</b> .....	<b>36</b>
<b>Teile und Bedienungselemente</b> .....	<b>37</b>
<b>Anbringen der Antenne</b> .....	<b>39</b>
Anbringen der im Lieferumfang enthaltenen Mikrofonständerbefestigung/ des Griffs .....	39
Befestigung am Mikrofonständer .....	39
<b>Wichtige Hinweise zum Betrieb</b> .....	<b>40</b>
Installation .....	40
Verwendung der Antenne .....	41
Reinigung .....	42
<b>Technische Daten</b> .....	<b>42</b>

---

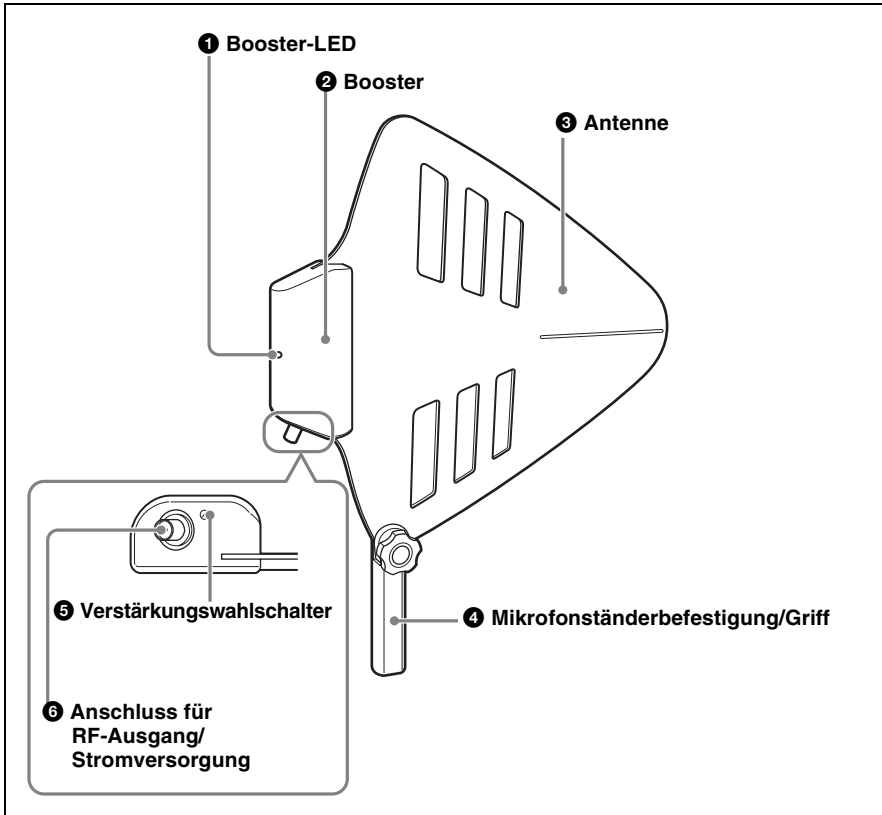
## Überblick

Die UHF-Antenne AN-01 ist für den Gebrauch mit dem drahtlosen Mikrofonsystem von Sony konstruiert und vorgesehen. Diese Antenne kann mit analogen und digitalen Systemen verwendet werden.

Die Antenne ist durch folgende Produkteigenschaften gekennzeichnet:

- Richtionale Breitband-Antenne unter Verwendung eines logarithmisch-periodischen Dipol-Arraysystems mit überlegener praktischer Empfangsempfindlichkeit in der effektiven Richtcharakteristik (im Vergleich zu nichtdirektionalen Antennen).
- Integrierter rauscharmer und verzerrungsarmer Antennenbooster
- Wählbare Boosterverstärkung (18 dB/10 dB/0 dB)
- Mit Hilfe des Griffs mit Befestigungsschraube kann die Antenne an einem Mikrofonständer befestigt oder in der Hand gehalten werden.
- Der Antennenwinkel kann zur Anpassung an die Umgebungsbedingungen in vertikaler Richtung in einem Bereich von 30 Grad eingestellt werden.

# Teile und Bedienungselemente



## 1 Booster-LED

Farbe zeigt den Betriebsstatus des Antennenboosters an.

**Rot:** 18 dB Verstärkung

**Grün:** 10 dB Verstärkung

**Blau:** 0 dB Verstärkung

## 2 Booster

Verstärkt das von der Antenne empfangene Signal. Mit dem Booster können durch lange Koaxialkabel verursachte

Ausgangssignalverluste kompensiert werden.

Die Stromversorgung des Boosters erfolgt über den Anschluss für RF-Ausgang/Stromversorgung.

## 3 Antenne

Direktionale Breitband-Antenne mit logarithmisch-periodischem Dipol-Arraysystem.

#### 4 Mikrofonständerbefestigung/Griff

Mit der PF1/2 Schraube am unteren Teil kann die Antenne an einem Mikrofonständer befestigt werden. Der Griff ermöglicht darüber hinaus den Handbetrieb.

*Einzelheiten zum Befestigen der Antenne siehe „Anbringen der im Lieferumfang enthaltenen Mikrofonständerbefestigung/des Griffs“ auf Seite 39.*

#### 5 Verstärkungswahlschalter

Zur Auswahl der Verstärkungsleistung des Antennenboosters.



**REMOTE:** Die Verstärkungsleistung wird automatisch entsprechend der angelegten Spannung gewählt:

- Bei Versorgung mit 9 V  
Gleichspannung: 10 dB
- Bei Versorgung mit 12 V  
Gleichspannung: 18 dB

**18dB:** 18 dB Verstärkung ungeachtet der anliegenden Stromspannung

**10dB:** 10 dB Verstärkung ungeachtet der anliegenden Stromspannung

**0dB:** 0 dB Verstärkung ungeachtet der anliegenden Stromspannung

#### Hinweis

Die Stromversorgung muss auch dann anliegen, wenn der Verstärkungswahlschalter auf „0dB“ gestellt ist. Ohne Stromversorgung wird am Anschluss für RF-Ausgang/ Stromversorgung kein Signal ausgegeben.

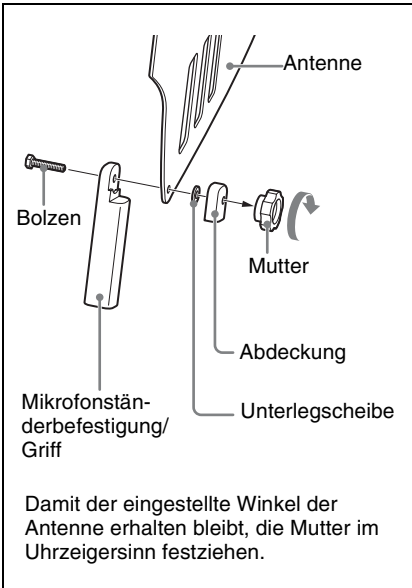
#### 6 Anschluss für RF-Ausgang/ Stromversorgung (BNC-R)

Zur Ausgabe des mit dem Booster verstärkten Signals an den

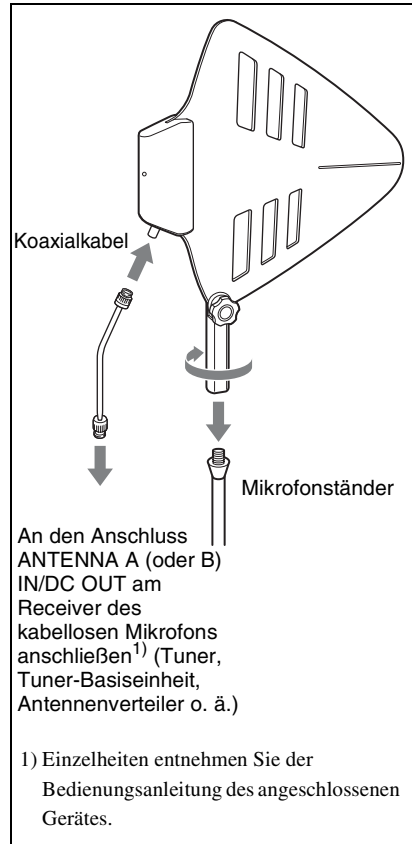
Antenneneingang des Receivers (Tuner, Tuner-Basiseinheit, Antennenverteiler o. ä.) anschließen. Die Stromversorgung des Boosters erfolgt ebenfalls durch diesen Anschluss.

# Anbringen der Antenne

## Anbringen der im Lieferumfang enthaltenen Mikrofonständerbefestigung/ des Griffs



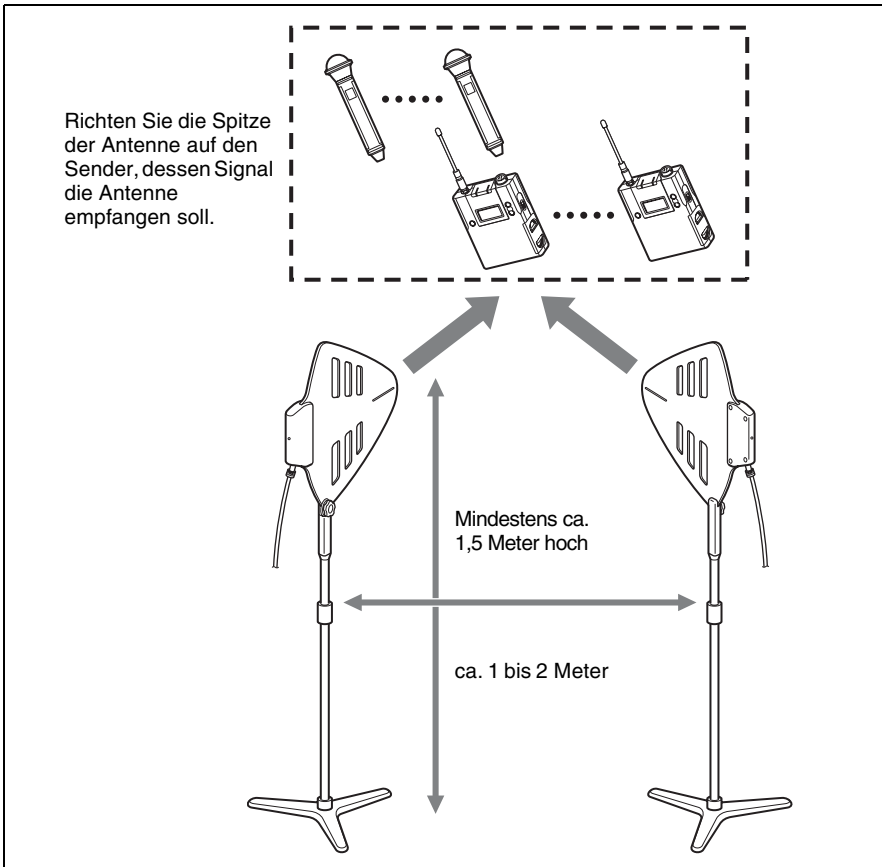
## Befestigung am Mikrofonständer



# Wichtige Hinweise zum Betrieb

## Installation

- Verwenden Sie zur Erzielung eines Diversitätseffekts stets mindestens zwei AN-01 Einheitenpaare.
- Beachten Sie beim Installieren der Antenne die folgenden Grundsätze:



- Positionieren Sie die Antennen mindestens ca. 1,5 Meter über der Aufstellungsfläche
- Stellen Sie die Einheiten des Paares ungefähr 1 bis 2 Meter von einander entfernt auf.
- Stellen Sie sicher, dass zwischen den Sendern (kabellose Mikrofone, Sendeeinheiten o. ä.) und den Antennen der installierten Einheiten Sichtverbindung besteht und die Antenne auf den Sender gerichtet ist.



- Vermeiden Sie die Installation der Elemente:
  - in der Nähe von Fenstern oder Metallverkleidungen,
  - in unmittelbarer Nähe zu elektrischen Geräten, die RF-Interferenzen erzeugen können,
  - an Orten, an denen die Geräte mechanisch beschädigt werden könnten.
- Halten Sie die Koaxialkabel so kurz wie möglich und gleich lang.
- Die folgende Tabelle zeigt die Beziehung zwischen Verstärkungseinstellung und ungefähre Länge des Koaxialkabels. Beachten Sie jedoch, dass je nach den Betriebsbedingungen Über- und Untersteuerungen auftreten können. Prüfen Sie vor dem Einstellen der Verstärkung die Funktion der Antenne.

### Übersicht für die Länge des Koaxialkabels (für RG-212/U-Kabel)

- Betriebsfrequenzen: 600-MHz-Band

		Entfernung zwischen Sendern und Empfangsantennen	
		Ungefähr 30 Meter	Ungefähr 60 Meter
Verstärkungseinstellung des Boosters	0 dB	0 bis 12 Meter	0 bis 6 Meter
	10 dB	12 bis 90 Meter	6 bis 60 Meter
	18 dB	90 bis 180 Meter	60 bis 120 Meter

- Betriebsfrequenzen: 800-MHz-Band

		Entfernung zwischen Sendern und Empfangsantennen	
		Ungefähr 30 Meter	Ungefähr 60 Meter
Verstärkungseinstellung des Boosters	0 dB	0 bis 10 Meter	0 bis 5 Meter
	10 dB	10 bis 75 Meter	5 bis 50 Meter
	18 dB	75 bis 150 Meter	50 bis 100 Meter

### Verwendung der Antenne

- Das Gerät muss innerhalb eines Temperaturbereichs von 0 °C bis 50 °C verwendet werden.
- Wenn das Gerät in der Nähe elektrischer Anlagen (Motoren, Transformatoren oder Dimmer) betrieben wird, kann es durch elektromagnetische Induktion gestört werden. Es ist möglichst weit entfernt von derartigen Anlagen zu verwenden.
- Beleuchtungsanlagen können unter Umständen elektrische Störungen über den gesamten Frequenzbereich verursachen. Wählen Sie eine geeignete Position für das Gerät, um derartige Störungen zu vermeiden.
- Um eine Verschlechterung des Signal-Rausch-Verhältnisses zu vermeiden, verwenden Sie das Gerät nicht an Orten, die die starken Geräuschen oder Vibrationen ausgesetzt sind, wie z. B.:
  - in der Nähe von elektrischen Geräten wie z. B. Motoren, Transformatoren oder Dimmer
  - in der Nähe von Klimaanlage oder in der direkten Abluft von Klimaanlage
  - in der Nähe der Lautsprecher von Beschallungsanlagen

- an Orten, an denen andere Ausrüstungsgegenstände gegen den Empfänger stoßen können
- Das Gerät ist möglichst weit entfernt von derartigen Gegenständen zu verwenden oder mit Polstermaterial zu schützen.

## Reinigung

- Wenn das Gerät an einem sehr feuchten oder staubigen Ort verwendet wird oder Aktivgas ausgesetzt ist, müssen seine Oberfläche und die Anschlüsse nach Gebrauch mit einem trockenen, weichen Tuch gereinigt werden. Wenn das Gerät über längere Zeit an derartigen Orten verwendet oder nach der Verwendung nicht gereinigt wird, kann dies seine Lebensdauer senken.
- Reinigen Sie die Oberfläche und die Anschlüsse des Gerätes mit einem trockenen, weichen Tuch. Verwenden Sie nie Verdünnung, Benzol, Alkohol oder andere Chemikalien, da diese die Oberflächenbeschichtung angreifen können.

Weitere Informationen zu den Anschlüssen dieser Einheit entnehmen Sie der zum angeschlossenen Gerät (Tuner, Tuner-Basiseinheit, Antennenverteiler o. ä.) mitgelieferten Bedienungsanleitung.

# Technische Daten

## Antennenteil

- Frequenzbereich  
470 bis 862 MHz
- Antennenverstärkung  
5 dBi oder mehr
- Stehwellenverhältnis  
2,5 oder weniger
- Halbwertswinkel  
150 Grad oder weniger
- Vor-Rück-Verhältnis  
12 dB oder mehr

## Boosterenteil

- Frequenzbereich  
470 bis 862 MHz
- Boosterverstärkung  
18 dB/10 dB/0 dB, umschaltbar
- Ausgangsimpedanz  
50 Ohm
- Stehwellenverhältnis  
3 oder weniger
- Rauschzahl  
6 oder weniger
- Intermodulation dritter Ordnung  
60 dB oder mehr (95 dB $\mu$ V<sub>EMF</sub> Eingang)
- Ausgangsanschluss  
Typ BNC-R
- Versorgungsspannung  
9 V/12 V
- Stromaufnahme  
100 mA oder weniger

## Allgemein

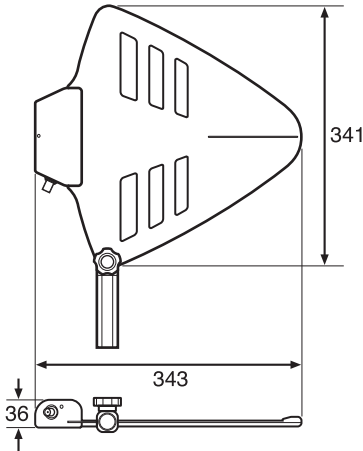
- Betriebstemperatur  
0 °C bis 50 °C
- Lagertemperatur  
-20 °C bis +60 °C

Abmessungen (Einheit: mm)

343 × 341 × 36 mm (B × H × T)

(außer

Mikrofonständerbefestigung/  
Griff)



Masse ca. 530 g

### Mitgeliefertes Zubehör

Mikrofonständerbefestigung/Griff

(1 Satz)

Ständeradapter

PF1/2 auf W5/8 Typ (1)

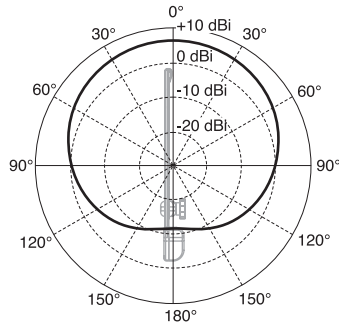
PF1/2 auf W3/8 Typ (1)

Bedienungsanleitung (1)

Garantiekarte (1)

Garantieheft (1)

### Beispiel für horizontale Richtcharakteristik



Änderungen, die dem technischen  
Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

### Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

Leggere attentamente questo manuale prima di utilizzare l'unità, e conservarlo per riferimenti futuri.



**Per i clienti in Europa**

Con la presente, Sony Corporation dichiara che questo apparecchio è conforme alla Direttiva 2014/53/UE.

Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet:

<http://www.compliance.sony.de/>

---

# Sommario

<b>Introduzione.....</b>	<b>45</b>
<b>Identificazione di parti e controlli.....</b>	<b>46</b>
<b>Attacco dell'antenna .....</b>	<b>48</b>
Montaggio dell'attacco asta microfono/impugnatura (fornita) .....	48
Attacco all'asta del microfono .....	48
<b>Note importanti per l'utilizzo.....</b>	<b>49</b>
Installazione .....	49
Utilizzo dell'antenna .....	50
Pulizia .....	51
<b>Specifiche .....</b>	<b>51</b>

---

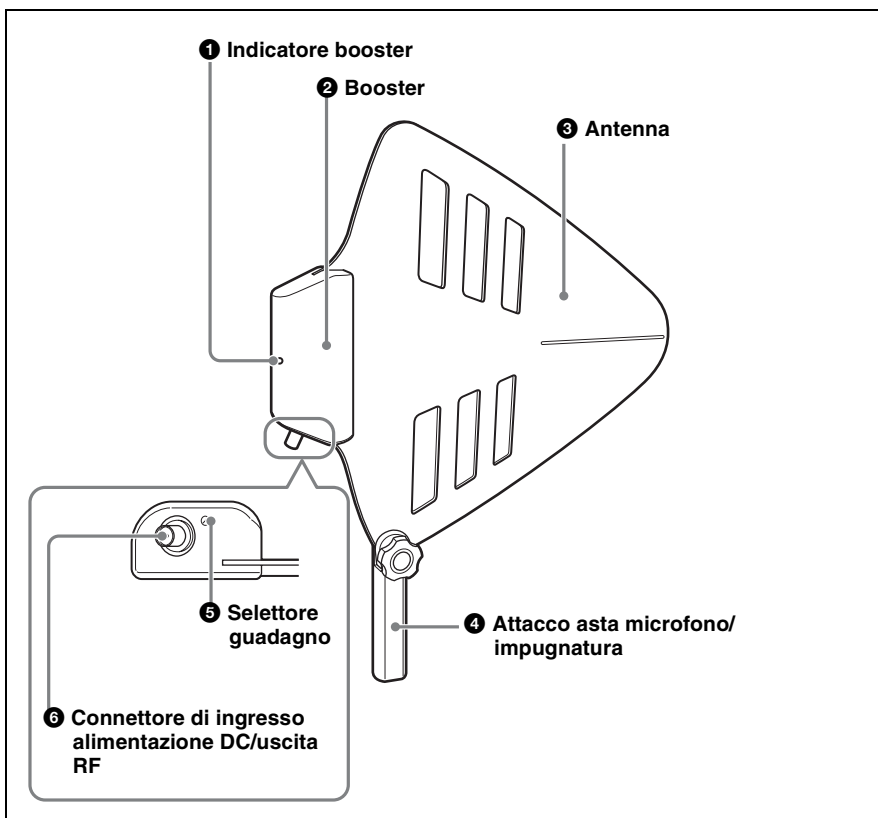
## Introduzione

L'antenna AN-01 UHF è stata progettata per essere collegata al sistema di ricezione microfoni wireless Sony. Questa antenna può essere utilizzata sia con il sistema analogico sia con il sistema digitale.

L'antenna presenta le seguenti caratteristiche:

- Questa antenna direzionale a banda larga utilizza il sistema LPDA (Log-Periodic Dipole Array), che rispetto a un'antenna non direzionale fornisce una sensibilità di ricezione pratica migliorata nella direttività effettiva.
- Booster dell'antenna integrato a bassa distorsione e basso rumore
- Guadagno del booster selezionabile (18 dB/10 dB/0 dB)
- L'impugnatura con vite consente l'attacco dell'antenna all'asta di un microfono o l'utilizzo a mano.
- L'angolo dell'antenna può essere regolato di 30 gradi in direzione verticale per adattare l'installazione alle circostanze.

# Identificazione di parti e controlli



## 1 Indicatore booster

Cambia di colore per indicare lo stato di funzionamento del booster dell'antenna.

**Rosso:** guadagno di 18 dB

**Verde:** guadagno di 10 dB

**Blu:** guadagno di 0 dB

## 2 Booster

Amplifica il segnale ricevuto dall'antenna.

L'utilizzo del booster consente di compensare la perdita di segnale di uscita causata da un cavo coassiale lungo.

L'alimentazione viene fornita al booster dal dispositivo collegato al connettore di ingresso alimentazione DC/uscita RF.

## 3 Antenna

Antenna direzionale a banda larga basata su sistema LPDA (Log-Periodic Dipole Array).

#### 4 Attacco asta microfono/ impugnatura

Con la vite PF1/2 nella parte inferiore, questa antenna può essere attaccata all'asta di un microfono.

L'impugnatura ne consente inoltre l'utilizzo a mano.

*Per informazioni dettagliate sul fissaggio all'antenna, vedere "Montaggio dell'attacco asta microfono/impugnatura (fornita)" a pagina 48.*

#### 5 Selettore guadagno

Consente di commutare il guadagno del booster dell'antenna.



**REMOTE:** il guadagno viene commutato automaticamente in base alla tensione di alimentazione fornita, come riportato di seguito.

- Tensione di 9 V DC: 10 dB
- Tensione di 12 V DC: 18 dB

**18dB:** 18 dB di guadagno a prescindere dalla tensione di alimentazione

**10dB:** 10 dB di guadagno a prescindere dalla tensione di alimentazione

**0dB:** 0 dB di guadagno a prescindere dalla tensione di alimentazione

#### Nota

Verificare che l'antenna sia alimentata anche in caso di impostazione del selettore di guadagno su "0dB". Quando non viene fornita alimentazione, dal connettore di ingresso alimentazione DC/uscita RF non viene trasmesso alcun segnale.

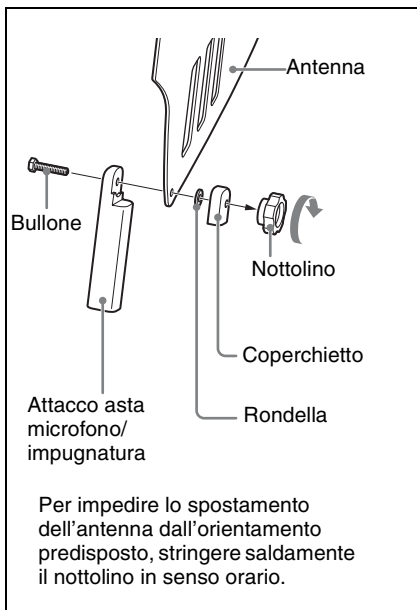
#### 6 Connettore di ingresso alimentazione DC/uscita RF (BNC-R)

Collegare al connettore di ingresso antenna del ricevitore (sintonizzatore, unità della base del sintonizzatore o divisore dell'antenna,

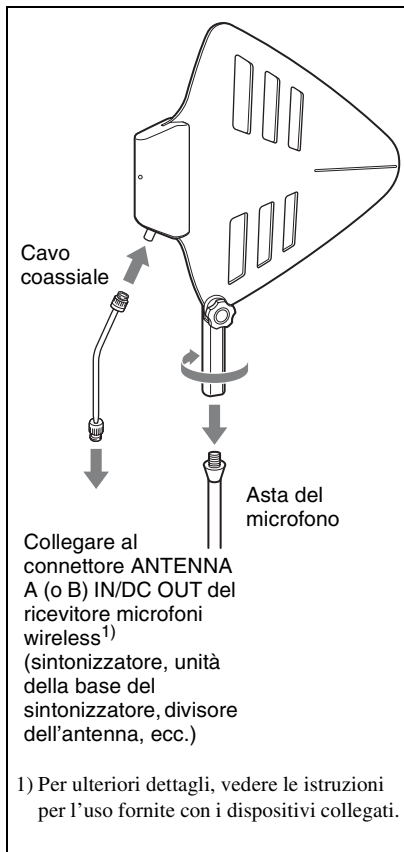
ecc.) per trasmettere il segnale amplificato con il booster. L'alimentazione viene fornita al booster tramite questo connettore.

# Attacco dell'antenna

## Montaggio dell'attacco asta microfono/impugnatura (fornita)



## Attacco all'asta del microfono

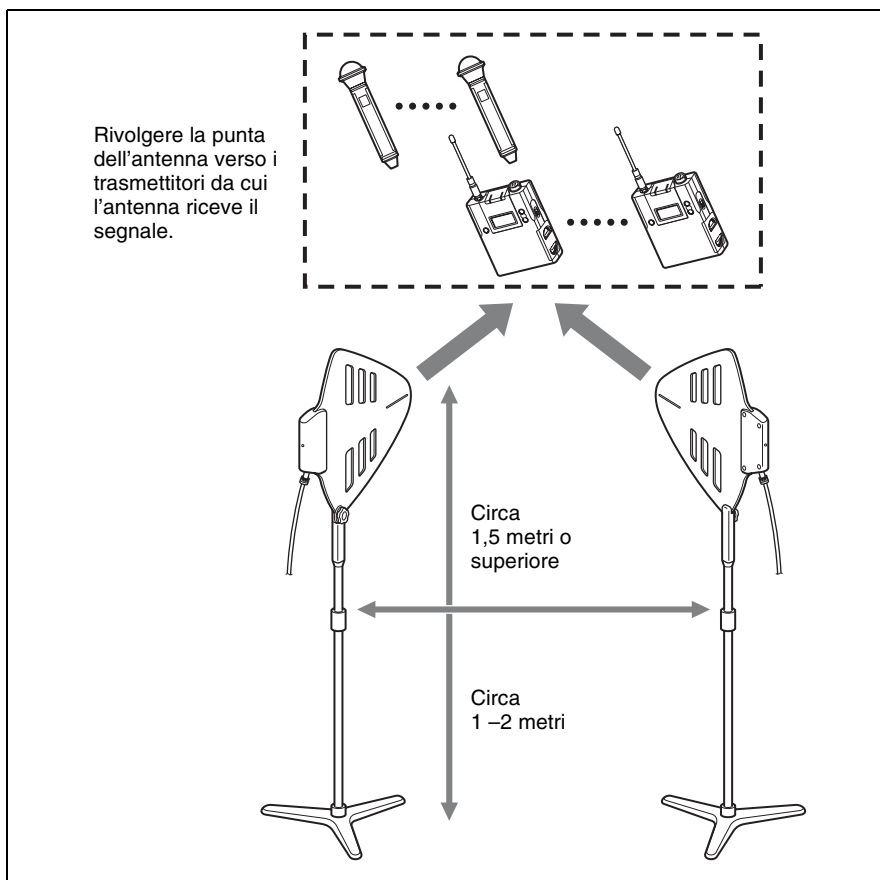




# Note importanti per l'utilizzo

## Installazione

- Per la ricezione del segnale con supporto di diversità, utilizzare sempre due o più unità AN-01 in coppia.
- In occasione dell'installazione dell'antenna, si osservi quanto segue:



- Posizionare le antenne ad almeno 1,5 metri di altezza dalla superficie di installazione.
- Installare ciascuna coppia di unità ad almeno 1 – 2 metri di distanza l'una dall'altra.
- Accertarsi che le unità installate siano visibili da dove si trovano i trasmettitori (trasmettitori o microfoni wireless, ecc.) verso i quali è rivolta la punta dell'antenna.

- Evitare l'installazione delle unità:
  - vicino a una finestra o a pannelli di metallo
  - in posizione immediatamente adiacente ad apparecchiature elettriche, che possono produrre interferenze di RF
  - in un posto in cui siano vulnerabili a danni fisici.
- Utilizzare cavi coassiali della lunghezza minore possibile e mantenere le stesse lunghezze.
- Per la relazione tra impostazione del guadagno e lunghezza approssimativa del cavo coassiale, vedere la tabella di seguito. Si osservi, tuttavia, che in determinate condizioni d'uso il guadagno potrà risultare basso o eccessivo. Impostare il guadagno solo dopo aver verificato il corretto funzionamento dell'antenna.

### Guida delle lunghezze del cavo coassiale (cavo RG-212/U)

- Frequenze operative: Banda 600 MHz

		Distanza tra trasmettitori e antenne riceventi	
		Circa 30 metri	Circa 60 metri
Impostazione guadagno booster	0 dB	Da 0 a 12 metri	Da 0 a 6 metri
	10 dB	Da 12 a 90 metri	Da 6 a 60 metri
	18 dB	Da 90 a 180 metri	Da 60 a 120 metri

- Frequenze operative: Banda 800 MHz

		Distanza tra trasmettitori e antenne riceventi	
		Circa 30 metri	Circa 60 metri
Impostazione guadagno booster	0 dB	Da 0 a 10 metri	Da 0 a 5 metri
	10 dB	Da 10 a 75 metri	Da 5 a 50 metri
	18 dB	Da 75 a 150 metri	Da 50 a 100 metri

### Utilizzo dell'antenna

- L'unità deve essere utilizzata entro un intervallo di temperatura compreso tra 0 °C e 50 °C.
  - Se utilizzata vicino ad apparecchiature elettriche (motori, trasformatori o dimmer), l'unità può essere soggetta a induzione elettromagnetica. Tenere l'unità alla massima distanza possibile da tali apparecchiature.
  - La presenza di apparecchi di illuminazione può produrre interferenza elettrica sull'intero raggio di frequenza.
- Posizionare l'unità in modo da ridurre al minimo tale interferenza.
- Per evitare il degrado del rapporto segnale/rumore, non utilizzare l'unità in luoghi rumorosi o in posizioni soggette a vibrazione, ad esempio:
    - vicino ad apparecchiature elettriche, quali motori, trasformatori o dimmer
    - vicino ad apparecchiature di condizionamento dell'aria o luoghi soggetti al flusso diretto dell'aria di un condizionatore
    - vicino ad altoparlanti pubblici

- in posizioni in cui le apparecchiature adiacenti potrebbero urtare il sintonizzatore
- Tenere l'unità alla massima distanza possibile da tali apparecchiature oppure utilizzare materiali cuscinetto.

## Pulizia

- Se l'unità viene utilizzata in un ambiente estremamente umido o polveroso o in un luogo soggetto a gas attivo, pulirne la superficie e i connettori con un panno morbido asciutto subito dopo l'uso. L'uso prolungato in luoghi di questo tipo o la mancata pulizia dopo l'utilizzo può ridurre la vita utile dell'unità.
- Pulire la superficie e i connettori dell'unità con un panno morbido asciutto. Non utilizzare mai solventi, benzene, alcol o altri prodotti chimici, poiché potrebbero rovinare la finitura.

Per ulteriori informazioni sulle connessioni di questa unità, vedere le istruzioni per l'uso fornite con il dispositivo collegato (sintonizzatore, unità della base del sintonizzatore o divisore dell'antenna, ecc.).

# Specifiche

## Sezione antenna

Raggio di frequenza  
470 – 862 MHz

Guadagno antenna  
5 dBi o superiore

Rapporto di onda stazionaria  
2,5 o inferiore

Angolo a metà potenza  
150 gradi o inferiore

Rapporto avanti/indietro  
12 dB o superiore

## Sezione booster

Raggio di frequenza  
470 – 862 MHz

Guadagno booster  
18 dB/10 dB/0 dB, commutabile

Impedenza d'uscita  
50 ohm

Rapporto di onda stazionaria  
3 o inferiore

Fattore di rumore  
6 dB o inferiore

Intermodulazione terzo ordine  
60 dB o superiore (ingresso  
95 dB $\mu$ V<sub>EMF</sub>)

Connettore di uscita  
Tipo BNC-R

Tensione di alimentazione  
9/12 V DC

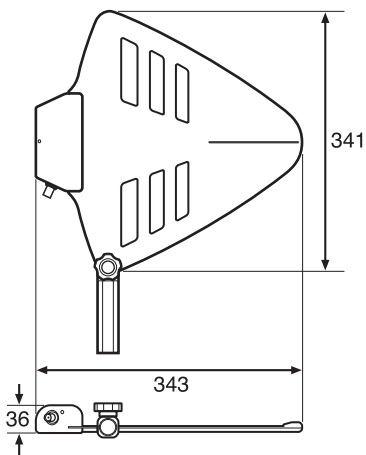
Consumo elettrico  
100 mA o inferiore

## Generali

Temperatura d'uso  
0 – 50 °C

Temperatura di conservazione  
–20 – +60 °C

Dimensioni (unità: mm)  
343 × 341 × 36 mm (l/h/p) (escluso  
attacco asta microfono/  
impugnatura)

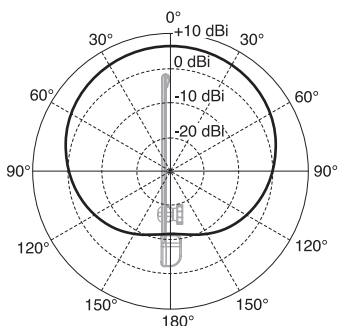


Massa Circa 530 g

### Accessori forniti

- Attacco asta microfono/  
impugnatura (1 set)
- Adattatore attacco asta
  - Tipo da PF1/2 a W5/8 (1)
  - Tipo da PF1/2 a W3/8 (1)
- Istruzioni per l'uso (1)
- Scheda di garanzia (1)
- Libretto di garanzia (1)

### Esempio delle caratteristiche di direzionalità orizzontale



Il design e le specifiche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

### Nota

Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Antes de poner en funcionamiento la unidad, lea detenidamente este manual y consérvelo para referencias futuras.



**Para los clientes de Europa**

Por la presente, Sony Corporation declara que este equipo es conforme con la Directiva 2014/53/UE.

El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección Internet siguiente:

<http://www.compliance.sony.de/>

---

# Índice

<b>Generalidades</b> .....	<b>54</b>
<b>Identificación de las piezas y los controles</b> .....	<b>55</b>
<b>Sujeción de la antena</b> .....	<b>57</b>
Colocación del poste de sujeción al soporte para micrófono/empuñadura suministrado .....	57
Sujeción al soporte para micrófono .....	57
<b>Notas importantes acerca del funcionamiento de la unidad</b> .....	<b>58</b>
Instalación .....	58
Uso de la antena .....	59
Limpieza .....	60
<b>Especificaciones</b> .....	<b>60</b>

---

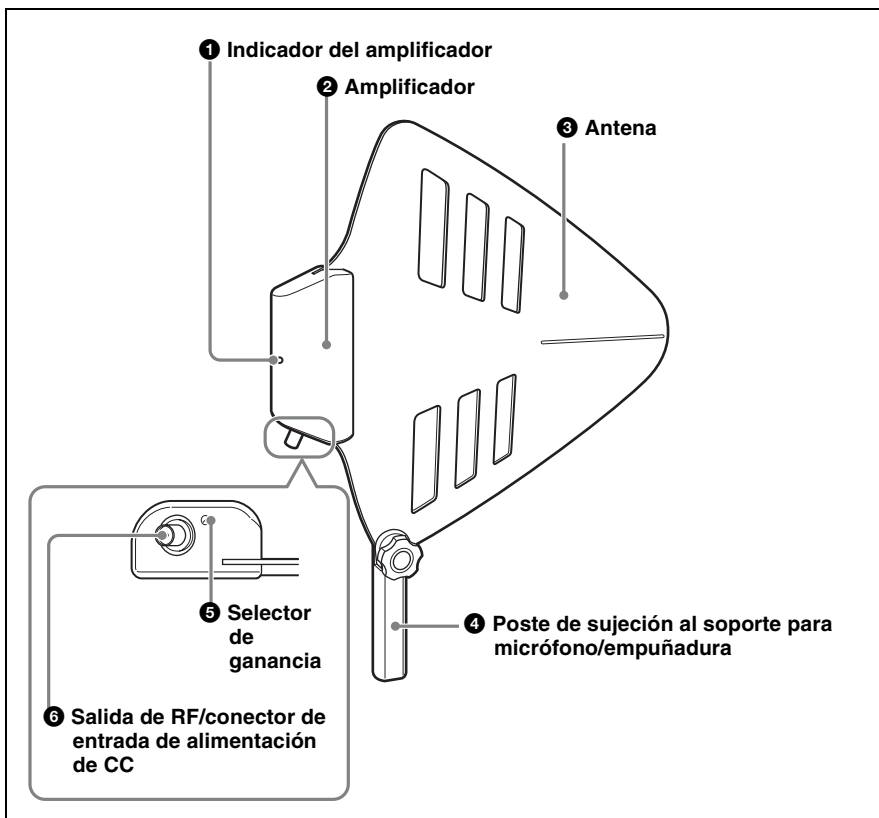
## Generalidades

La antena UHF AN-01 se ha diseñado exclusivamente para el sistema receptor de micrófono inalámbrico de Sony. Puede utilizarse tanto con sistemas analógicos como digitales.

Características:

- Esta antena direccional de banda ancha utiliza un sistema de red de dipolos de período logarítmico que ofrece una mejor sensibilidad práctica de recepción de su directividad efectiva en comparación con las antenas no direccionales.
- Amplificador de antena de baja distorsión y bajo ruido incorporado
- Ganancia de amplificador seleccionable (18 dB/10 dB/0 dB)
- La empuñadura con tornillo permite sujetar la antena al soporte del micrófono o bien sostenerla con la mano.
- El ángulo de la antena puede ajustarse 30 grados en sentido vertical para adaptar la instalación a cada necesidad.

# Identificación de las piezas y los controles



**1 Indicador del amplificador**  
Cambia de color según el estado de funcionamiento del amplificador de la antena.  
**Rojo:** ganancia de 18 dB  
**Verde:** ganancia de 10 dB  
**Azul:** ganancia de 0 dB

**2 Amplificador**  
Amplifica la señal que recibe la antena. Permite compensar la pérdida de señal de salida provocada por un cable coaxial largo. La alimentación que recibe el amplificador proviene del dispositivo conectado a la salida de RF/conector de entrada de alimentación de CC.

### 3 Antena

Es una antena direccional de banda ancha que utiliza un sistema de red de dipolos de período logarítmico.

### 4 Poste de sujeción al soporte para micrófono/empuñadura

Esta antena puede sujetarse a un soporte para micrófono mediante el tornillo PF1/2 de la parte inferior.

La empuñadura también permite sostener la antena con la mano.

*Para obtener más información acerca de cómo conectar a la antena, consulte "Colocación del poste de sujeción al soporte para micrófono/empuñadura suministrado" en la página 57.*

### 5 Selector de ganancia

Cambia la ganancia del amplificador de la antena.



**REMOTE:** la ganancia se adapta de forma automática a la corriente suministrada.

- Si se suministra CC de 9 V: 10 dB
- Si se suministra CC de 12 V: 18 dB

**18dB:** 18 dB de ganancia

independientemente de la corriente suministrada

**10dB:** 10 dB de ganancia

independientemente de la corriente suministrada

**0dB:** 0 dB de ganancia independientemente de la corriente suministrada

### Nota

Es necesario suministrar corriente a la antena aunque el selector de ganancia esté ajustado en "0dB". De lo contrario, la salida de RF/conector de entrada de alimentación de CC no emitirá ninguna señal.

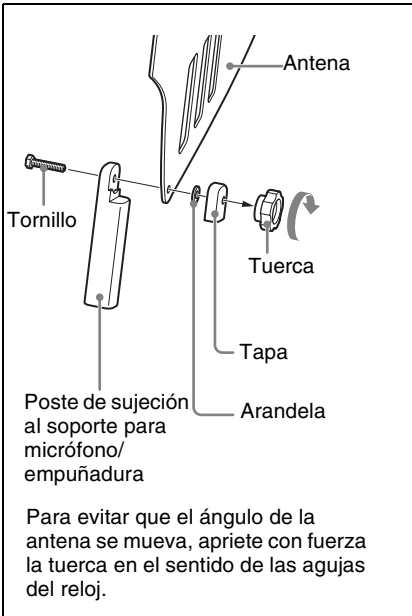
### 6 Salida de RF/conector de entrada de alimentación de CC (BNC-R)

Conéctelo al conector de entrada de antena del receptor (sintonizador, unidad base de sintonizador, unidad divisora de antena, etc.) para emitir la señal acentuada con el amplificador. La corriente se suministra al amplificador a través de este conector.

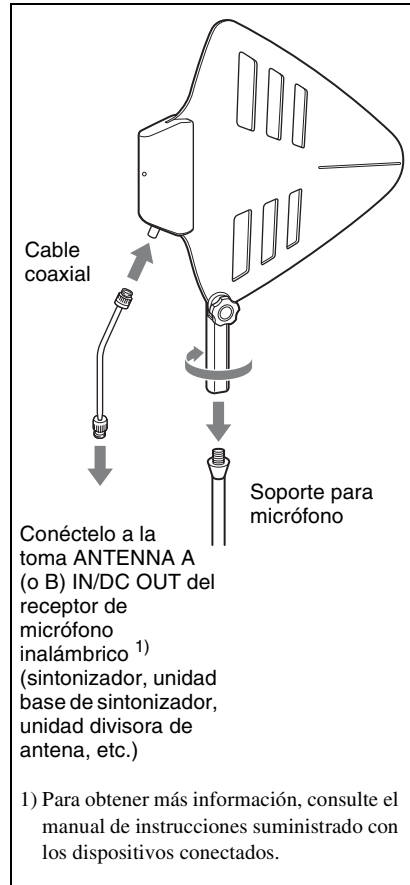


# Sujeción de la antena

## Colocación del poste de sujeción al soporte para micrófono/empuñadura suministrado



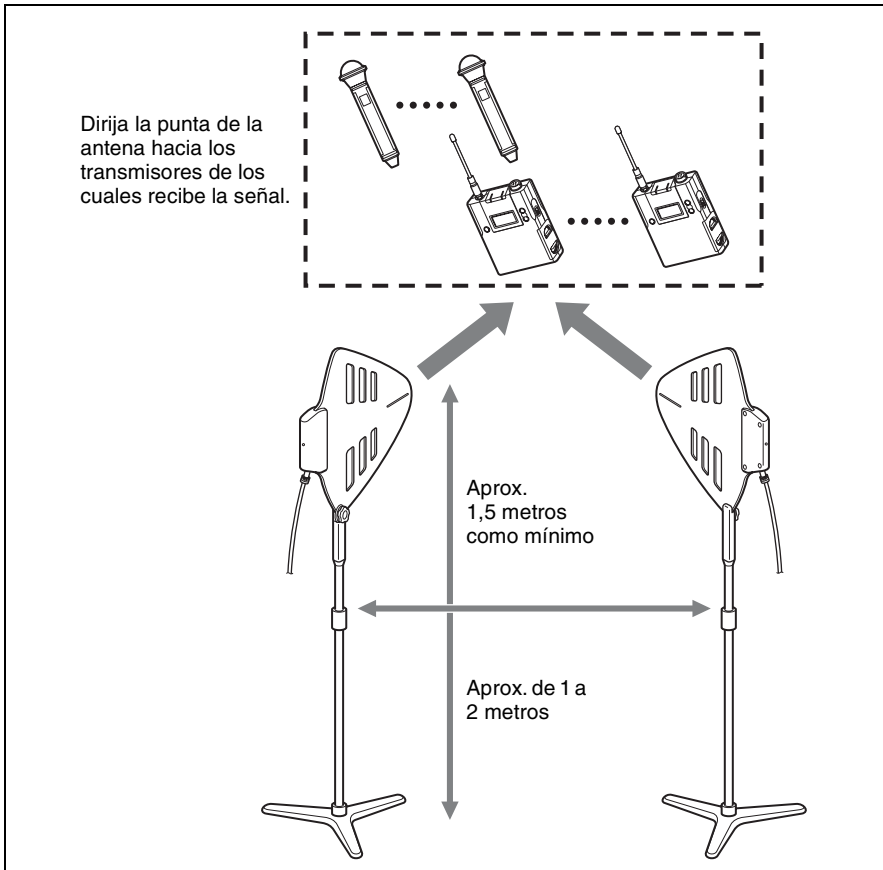
## Sujeción al soporte para micrófono



# Notas importantes acerca del funcionamiento de la unidad

## Instalación

- Para la recepción de diversidad de señales, utilice siempre dos o más unidades AN-01 en pares.
- Cuando instale esta antena, tenga en cuenta las indicaciones siguientes:



- Coloque las antenas a una distancia mínima aproximada de 1,5 metros de la superficie de instalación.
- Deje una distancia mínima aproximada de 1 a 2 metros entre cada par de unidades.

- Asegúrese de que las unidades instaladas puedan verse desde los transmisores (transmisores o micrófonos inalámbricos, etc.) y que la antena apunte hacia ellos.
- No se deben instalar las unidades:
  - cerca de una ventana o panel de metal,
  - junto a equipos eléctricos que puedan producir interferencias de radiofrecuencia,
  - en lugares donde puedan sufrir impactos físicos.
- Procure que los cables coaxiales sean lo más cortos posible y de la misma longitud.
- En la tabla siguiente se especifica la relación entre el ajuste de ganancia y la longitud aproximada del cable coaxial. No obstante, tenga en cuenta que la ganancia puede resultar excesiva o insuficiente en función del uso que se haga de la antena. No olvide ajustar la ganancia tras comprobar el modo de uso de la antena.

### Longitud orientativa del cable coaxial (para el cable RG-212/U)

- Frecuencias de funcionamiento: banda de 600 MHz

		Distancia entre los transmisores y las antenas receptoras	
		Aproximadamente 30 metros	Aproximadamente 60 metros
Ajuste de ganancia del amplificador	0 dB	De 0 a 12 metros	De 0 a 6 metros
	10 dB	De 12 a 90 metros	De 6 a 60 metros
	18 dB	De 90 a 180 metros	De 60 a 120 metros

- Frecuencias de funcionamiento: banda de 800 MHz

		Distancia entre los transmisores y las antenas receptoras	
		Aproximadamente 30 metros	Aproximadamente 60 metros
Ajuste de ganancia del amplificador	0 dB	De 0 a 10 metros	De 0 a 5 metros
	10 dB	De 10 a 75 metros	De 5 a 50 metros
	18 dB	De 75 a 150 metros	De 50 a 100 metros

### Uso de la antena

- Esta unidad debe utilizarse dentro de un rango de temperatura comprendido entre 0 °C y 50 °C.
- Si se emplea cerca de un equipo eléctrico (motores, transformadores o potenciómetros), puede resultar afectada por la inducción electromagnética. Manténgala lo más alejada posible de este tipo de equipos.
- La presencia de equipos de iluminación puede provocar interferencias eléctricas en todo el rango de frecuencias. Cuando instale la unidad, procure que estas interferencias sean mínimas.
- A fin de evitar la degradación de la relación señal/ruido, no utilice la unidad en lugares con mucho ruido o en ubicaciones sujetas a vibraciones como las que se indican a continuación:
  - cerca de equipos eléctricos, como motores, transformadores o potenciómetros,
  - cerca de equipos de aire acondicionado o lugares sujetos al flujo de aire directo de un aparato de este tipo,
  - cerca de altavoces de megafonía,

- en lugares donde existan equipos adyacentes que puedan golpear el sintonizador.
- Mantenga la unidad lo más alejada posible de este tipo de equipos o utilice material amortiguador.

## Limpieza

- Si esta unidad se utiliza en un lugar muy húmedo o con mucho polvo, o en una ubicación sujeta a un gas activo, limpie la superficie y los conectores con un paño suave y seco inmediatamente después del uso. Si la unidad se utiliza de forma prolongada en este tipo de ubicaciones o no se limpia después de utilizarla en dichos lugares, su vida útil puede reducirse.
- Limpie la superficie y los conectores de la unidad con un paño suave y seco. No utilice nunca disolvente, benceno, alcohol ni otros productos químicos, puesto que podrían dañar el acabado de la unidad.

Para obtener más información sobre las conexiones de esta unidad, consulte el Manual de instrucciones suministrado con el dispositivo conectado (sintonizador, unidad base de sintonizador, unidad divisora de antena, etc.).

# Especificaciones

## Antena

- Rango de frecuencias  
De 470 a 862 MHz
- Ganancia de la antena  
5 dBi o superior
- Relación de amplitud de onda estacionaria en tensión  
2,5 o inferior
- Ángulo de media potencia  
150 grados o inferior
- Relación frente espalda  
12 dB o superior

## Amplificador

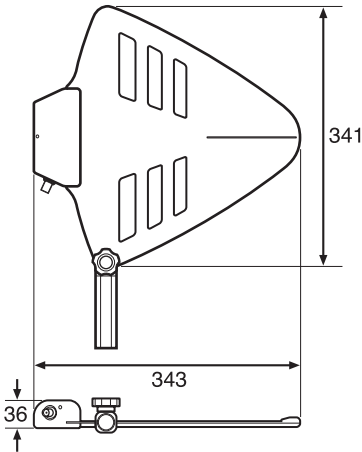
- Rango de frecuencias  
De 470 a 862 MHz
- Ganancia del amplificador  
18 dB/10 dB/0 dB, seleccionable
- Impedancia de salida  
50 ohmios
- Relación de amplitud de onda estacionaria en tensión  
3 o inferior
- Cifra de ruido  
6 dB o inferior
- Intermodulación de tercer orden  
60 dB o superior (entrada de 95 dB $\mu$ V<sub>EMF</sub>)
- Conector de salida  
Tipo BNC-R
- Tensión de alimentación  
CC de 9/12 V
- Consumo de corriente  
100 mA o inferior

## General

- Temperatura de funcionamiento  
De 0 °C a 50 °C
- Temperatura de almacenamiento  
De -20 °C a +60 °C

Dimensiones (unidad: mm)

343 × 341 × 36 mm (An. × Al. × Prof.) (sin incluir el poste de sujeción al soporte para micrófono/empuñadura)

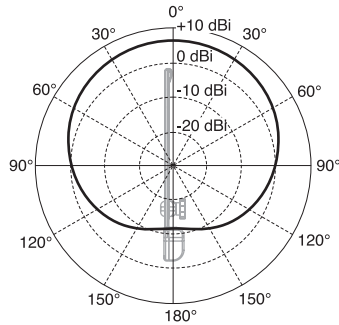


Peso Aprox. 530 g

### Accesorios suministrados

- Poste de sujeción al soporte para micrófono/empuñadura (1 juego)
- Adaptador de soporte
  - Tipo PF1/2 a W5/8 (1)
  - Tipo PF1/2 a W3/8 (1)
- Manual de instrucciones (1)
- Tarjeta de garantía (1)
- Folleto de garantía (1)

### Ejemplo de características de directividad horizontal



El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

### Nota

Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.





お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.net/>